

令和 3 年度
事業 年 報



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

青森県支部

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

赤十字基本原則

(1965年ウィーンで開催された第20回赤十字国際会議において採択)

人 道 赤十字は、戦場において差別なく負傷者に救護を与えたいという願いから生まれ、あらゆる状況下において人間の苦痛を予防し軽減することに、国際的及び国内的に努力する。その目的は生命と健康を守り、人間を尊重することを確保することにある。赤十字はすべての国民間の相互理解、友情、協力及び堅固な平和を助長する。

公 平 赤十字は国籍、人種、宗教、社会的地位または政治上の意見によるいかなる差別をもしない。赤十字はただ苦痛の度合いに従って個人を救うことに努め、その場合、最も急を要する困苦の場合を優先的に取り扱う。

中 立 すべての人からいつも信頼を受けるために、赤十字は戦闘行為の時、いずれの側にも加わることを控え、いかなる場合にも、政治的、人種的、宗教または思想的性格の闘争には参加しない。

独 立 赤十字は独立である。各国赤十字社は、その国の政府の人道的事業の補助者であり、その国の法律に従うが、常に赤十字の諸原則に従って行動できるよう、その自主性を保たなければならない。

奉 仕 赤十字は利益を求めない奉仕的救護組織である。

単 一 いかなる国にもただ一つの赤十字社しかあり得ない。赤十字社はすべての人に門戸を開き、その国の全領土にわたって人道的事業を行わなければならない。

世界性 赤十字は世界的機構であり、その中においてすべての赤十字社は同等の権利を持ち、相互援助の義務を持つ。

はじめに

赤十字事業の推進につきましては、日頃から県民の皆様並びに地区・分区をはじめとする関係者の皆様に深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の国内での発生から、すでに丸2年が経過しましたが、発生以来、私達の日々の社会生活は大きな影響を受けました。

青森県支部におきましても、救急法講習会などの講習普及活動をはじめとする様々な取組みが感染状況を考慮して延期や中止、あるいはオンラインでの開催等を余儀なくされるとともに、血液センターでは献血者が減少し、輸血用血液の確保に苦慮するといった状況もありました。また、管内施設である八戸赤十字病院では、多くの感染患者を受け入れ、地域の医療提供体制の確保に尽力してきたほか、青森県立はまなす医療療育センターでは、様々な制約がある中、感染防止対策に最大限努めながらの運営を続けています。

こうした未だ収束の兆しが見えないコロナ禍にあって、昨年8月に本県上北・下北地方を襲った大雨災害や、今年3月中旬に発生した福島県沖地震をはじめ、近年、地震や大雨、台風等による自然災害が頻発化しております。いつ起きるかもしれない災害に備え、発災直後の応急対応が的確に行えるよう災害救護体制の強化を進めるとともに、防災教育を充実させ、地域社会への防災・減災の知識・技術の普及に今後も取り組んで参ります。

当支部としては、厳しい環境下にあっても、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という赤十字の使命の下、支部、病院、血液センター、社会福祉施設が有する資源と機能を最大限に活用しながら、赤十字の特色を活かした活動を積極的に展開し、多くの県民の皆様から赤十字活動へのご賛同とご協力が得られるよう努めて参りますので、関係者の皆様におかれましては、更なるご理解とご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社青森県支部

支部長 三村 申吾

目 次

巻頭言

I 赤十字事業

1. 災害救護事業	1
2. 看護師養成事業	12
3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業	13
4. 赤十字奉仕団	15
5. 青少年赤十字	21
6. 国際活動	29
7. 社会福祉事業	30
8. 医療事業	32
9. 血液事業	34

II 赤十字活動資金募集と赤十字思想の普及

10. 赤十字活動資金の募集状況並びに会員（社員）の現況	39
11. 赤十字思想の普及と広報活動	47
12. 青森県赤十字有功会	51

III 評議員会及び決算等

13. 評議員会及び監査	53
14. 令和3年度一般会計・特別会計決算報告	54
15. 支部役員・評議員	57

日本赤十字社長期ビジョン	58
--------------	----

赤十字の組織と機構	59
-----------	----

日本赤十字社青森県支部現勢	60
---------------	----



1. 災害救護事業

災害救護活動は、赤十字本来の使命に基づく活動であるばかりでなく、日本赤十字社には災害救助法や災害対策基本法等で国及び地方自治体の防災・救助業務への協力が義務付けられている。

当支部では、常に災害に備えて救護員を養成し、訓練、研修を重ねている。そのほか、救護資材を整備し、救護体制を万全にするように努めている。

(1) 救護業務

① 災害に対する救援物資等の交付

県内で発生した火災（火災災害）、水害等の被災者に対して、見舞い品として毛布や緊急セットを交付基準に基づき交付している。

また、県内で発生した災害により死亡した県内在住の被災者には香花料を交付している。

② 災害救援物資交付状況

品名	数量
毛布	261
緊急セット	129

(救援物資の市町村別交付状況は、8、9ページ参照)

(令和3年台風第9号等大雨災害にかかる交付状況は上記に含まない。5ページ参照)

(2) 国内災害義援金受付状況

区分	件数	金額
平成30年7月豪雨	7件	24,470円
令和2年7月豪雨	17件	206,888円
令和3年2月福島県沖地震	17件	51,379円
令和3年島根県松江市大規模火災	5件	21,768円
令和3年7月大雨	36件	609,548円
令和3年台風第9号等大雨	78件	47,876,836円
令和3年8月大雨	19件	77,057円
令和3年長野県茅野市土石流	14件	58,022円
合計	193件	48,925,968円

(3) 災害救護の体制及び救護班の訓練・研修

① 救護班の常備組織

災害が発生した場合、その規模に応じて災害地に救護班を派遣して被災者の医療救護にあたる。

当支部では八戸赤十字病院に7個班及び支部、はまなす医療療育センター、血液センターの混成で1個班、計8個班を編成している。

令和3年度は、日赤本社の救護班編成基準（※）に基づいて、第1～7班は薬剤師、第8班は主事を加え、各班7人編成とした。

職 種 区 分	医 師 (班長) (人)	看護師長 (人)	看 護 師 (人)	主 事 (人)	薬剤師 or 助産師 (人)	計 (人)
1個班の編成基準(※)	1	1	2	2	(1)	6(7)
常 備 要 員	8	8	16	17	7	56

② 各種訓練への参加状況

参加を予定していた以下の訓練は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止や延期となった。

- ・青森県総合防災訓練（五所川原市）……中止
- ・八戸地区石油コンビナート訓練……中止
- ・日赤第1ブロック支部合同災害救護訓練（担当：宮城県支部）…令和4年度に延期

③ 赤十字救護班に対する研修の実施

近年、救護をめぐる概念や、方法論はめまぐるしく変化しており、特に災害発生直後に救出活動と連携して行われる医療活動であるDMAT活動については、日本赤十字社においても、DMATチームを養成し、これに取り組んでいるところである。

当支部においても、八戸赤十字病院が青森県よりDMAT指定医療機関としての指定を受け、DMATチーム3チームを保有している。

また、当支部では、現場でDMATチームと協働することを想定して、救護班養成のための研修・訓練カリキュラム（SPDT：Small Packaged Disaster Training）に基づく研修及び指導者養成研修を実施しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各種研修を中止とした。

(4) 災害救護装備について

① 県内市町村における救護装備

- ・天幕、担架、移動炊飯器の配置

当支部では、災害に備え、県内各地区・分区に天幕等を配置し、災害時には赤十字地域奉仕団が迅速に炊き出し等を実施できるようにしている。

令和3年度の天幕、担架、移動炊飯器の使用状況は次のとおりである。

装備品名	使用回数	主たる使用状況
天 幕	5	防災訓練、避難訓練 ほか
担 架	3	避難訓練
移動炊飯器	7	奉仕団研修会、防災訓練 ほか

(天幕等の使用状況は、8、9ページ参照)

・赤十字救援車「博愛号」の配置

当支部では、赤十字の理念とする「人道・博愛」の心について、赤十字活動を通じて広く県民に浸透を図り、市町村において地域住民の安全と健康の保持増進、福祉の向上を目的として赤十字救援車両「博愛号」を県内市町村に配置している。

令和3年度の配置概要は以下のとおり。

車両配置先	配置月日	配置車両
鯉ヶ沢町	9月2日	ホンダ ステップワゴン 1.5L 4WD G・E X Honda SENSING
東北町	9月13日	
八戸市	9月27日	
大鰐町	9月29日	

(「博愛号」の使用状況は10、11ページ参照)



写真は東北町役場での配置の様子
レプリカキーを持つ長久保分区長

写真は大鰐町役場での配置の様子
レプリカキーを持つ山田分区長



(5) 令和3年台風第9号等大雨災害（令和3年8月大雨災害）に対する青森県支部の対応

① 台風の概要

8月4日に南シナ海で発生した台風9号は、東シナ海を北東に進み、8月8日20時過ぎに鹿児島県枕崎市付近に上陸、8月9日5時過ぎに広島県呉市付近に再上陸し、8月9日9時、温帯低気圧に変わった。

台風9号の接近・通過に伴い、中国地方などを中心に各地で大雨や強風に襲われた。気象庁は「顕著な大雨に関する情報」を島根県隠岐に発表した。降り始めから9日16時までの総雨量は、島根県海士町海士で325.5mm、同県浜田市波佐で296.5mm、広島県山県郡北広島町八幡で276mmなどとなり、北広島町千代田地区には「緊急安全確保」が発表された。また、高知県室戸市で最大瞬間風速38m/sが観測されたほか、東京都江戸川区でも最大瞬間風速25.5m/sを記録した。

この台風から変わった温帯低気圧の影響で、8月10日には北日本から東日本で大荒れの天気となった。青森県上北郡七戸町では河川が氾濫し「緊急安全確保」が発表され、同県むつ市では国道279号に架かる橋が崩落するなどの被害が出た。この温帯低気圧に伴う大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受ける恐れが生じたことから、青森県は3市町村に災害救助法の適用を決定した。

② 被害の状況（青森県内）

（青森県災害対策本部資料・第3回令和3年8月大雨青森県義援金配分委員会資料参照 令和4年2月20日現在）

死 者	0名			
行方不明者	0名			
負 傷 者	0名			
住 家 被 害	全 壊	8棟	大規模半壊	7棟
	中規模半壊	6棟	半 壊	40棟
	準 半 壊	0棟	一 部 損 壊	281棟
非住家被害	全 壊	6棟		
	半 壊	8棟		

③ 日本赤十字社青森県支部の活動

ア 青森県支部第一次救護体制発令

発令期間：令和3年8月10日（火）11：00から

令和3年8月26日（木）15：00まで

主な活動：県災害対策本部へのリエゾン職員2名

災害救援物資の搬送職員4名

被災地へのリエゾン職員3名

義援金募集



救援物資を積み込む様子

イ 活動詳細

・ 県災害対策本部へのリエゾン

県庁の災害対策本部へ8月10日～8月26日にかけて情報収集。

・ 災害救援物資の搬送

8月10日：むつ市大畑町に避難所が開設したことにより、8月10日むつ市から毛布100枚及び緊急セット18個の要請を受け、同日むつ市役所へ搬送完了。

8月12日：風間浦村から毛布200枚、緊急セット150個、安眠セット200個の要請を受け、下北自然の家まで搬送。その後、自衛隊と共に大畑漁港へ向かい、船に積み込み海路経由で風間浦村下風呂避難所へ搬送完了。

むつ市から緊急セット18個の要請を受け、当支部から佐川急便へ依頼し、むつ市役所へ搬送完了。

8月13日：むつ市大畑小学校に避難所が開設され、緊急セット36個、安眠セット50個、タオルケット50枚の要請を受け、同日、青森県トラック協会と協働しむつ市役所へ搬送完了。

・ 被災地へのリエゾン

8月12日：むつ市災害対策本部へ行き、情報収集。



下北自然の家で自衛隊と救援物資を積み込む様子



大畑漁港にて船へ救援物資を積み込む様子

避難所への救援物資搬送状況

救援物資	市町村名	
	むつ市	風間浦村
毛 布	100枚	200枚
緊急セット	72個	150個
安眠セット	50個	200個
タオルケット	50枚	



緊急セット



安眠セット

ウ 義援金の受付

義援金名称：令和3年台風第9号等大雨災害義援金

受付期間：令和3年8月18日（水）～令和3年12月28日（火）

区分	件数（件）	金額（円）
当支部受付	72	2,235,610
本社及びその他の支部からの送金分	6	45,641,226
計	78	47,876,836

エ 義援金配分委員会（令和3年8月大雨災害青森県義援金配分委員会）

義援金受入総額：74,898,962円

※うち、赤十字受付分 47,876,836円

（県、日赤、青森県共同募金会受付分及び預金利息 令和4年2月20日現在）

配 分 金 額：74,898,962円

義援金配分区分及び対象

区 分	1件あたりの配分額（円）	配分対象（件）	被害状況（件）		
			むつ市	七戸町	風間浦村
住家全壊	1,858,600	8	7	0	1
住家大規模半壊	1,393,950	7	6	0	1
住家中規模半壊	929,300	6	5	0	1
住家半壊	464,650	40	38	0	2
住家準半壊	185,860	0	0	0	0
住家一部損壊	92,920	281	241	6	33

総配分額

市町村	配分額（円）	残額配分（円）	計（円）
むつ市	66,163,740	169	66,163,909
七戸町	557,520	2	557,522
風間浦村	8,177,510	21	8,177,531
計	74,898,770	192	74,898,962

※残額の取り扱いについては、各市町村への配分総額の割合を基に残額を配分。

災害救護活動用 救護装備・資機材の現有保管状況

項 目		支 部	八戸赤十字病院	計
車両		4	1	5
医療セット		0	2	2
携帯医療セット		1	0	1
テント	エアテント	2	1	3
	ドラッシュ テント	3	1	4
	その他	10	1	11
担架		30	8	38
折畳寝台		30	5	35
発電機		8	2	10
エネルギー (1500W)		2	0	2
太陽光発電パネル		1	0	1
蓄電池 (小) (500W)		1	0	1
投光器		12	0	12
浄水機		1	0	1
衛星電話		2	4	6
災害時優先 電話	固定電話	2	2	4
	携帯電話	3	20	23

令和3年度 災害救援物資の交付状況及び天幕等の使用状況表

区分 市町村名	災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考		
	り災 世帯数	被災 者数	火災		風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器			
			全焼	半焼											
市	青森市														
	青森市	24	40	20	1	0	38	24	15,000	0	0	0	0		
	青森市浪岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0		
	弘前市	16	40	13	3	0	39	16	5,000	0	0	0	0	炊飯器 4器	
	八戸市	14	27	11	2	0	8	4	10,000	-	-	-	1	炊飯器 2器	
	黒石市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0		
	五所川原市														
	五所川原市	2	2	0	1	0	6	0	0	0	-	-	0		
	五所川原市金木	2	5	2	0	0	5	2	0	0	-	-	1		
	五所川原市市浦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	十和田市	3	9	5	0	0	7	4	0	0	-	-	0	炊飯器 2器	
	三沢市	2	2	1	1	0	2	2	0	0	-	-	0		
	むつ市														
	むつ市	2	4	1	1	0	50	31	5,000	0	-	-	0	炊飯器 2器	
	むつ市川内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0		
	むつ市大畑	1	1	1	0	0	0	0	5000	0	0	0	0		
むつ市協野沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
つがる市	1	3	1	0	0	3	1	0	0	-	-	0	炊飯器 5器		
平川市	7	18	6	1	0	17	8	5,000	0	-	-	0	炊飯器 3器		
市計	74	151	61	10	0	175	92	45,000	0	0	0	2			
東地区	平内町	2	8	2	0	0	8	3	0	0	0	0	0		
	外ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	炊飯器 3器	
	今別町	3	6	2	1	0	4	3	10,000	-	-	-	0		
	蓬田村	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0		
西地区	鱒ヶ沢町	1	6	1	0	0	6	2	0	-	-	-	0		
	深浦町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	炊飯器 2器	
中地区	西目屋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0		
	板柳町	1	3	1	0	0	3	1	0	1	0	0	1		
南地区	藤崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	炊飯器 2器	
	大鰐町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0		
	田舎館村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0		
北地区	中泊町	0	0	0	0	0	0	0	0	2	-	-	2		
	鶴田町	2	7	2	0	0	7	3	0	0	0	0	0		
上北地区	野辺地町	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0		
	七戸町	3	9	2	0	0	9	4	0	0	-	-	0	炊飯器 2器	
	六戸町	1	1	1	0	0	1	1	0	0	-	-	0	炊飯器 2器	
	横浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0		
	東北町	1	3	1	0	0	3	1	0	-	-	-	0	炊飯器 2器	
	六ヶ所村	2	4	2	0	0	3	2	5,000	0	0	0	0		

区分 市町村名		災害件数・災害種別					救援物資交付数			天幕等使用状況				備考
		り災 世帯数	被災 者数	火災		風水害	毛布	緊急 セット	香花料 (円)	天幕	担架	寝台	炊飯器	
				全焼	半焼									
下北地区	大間町	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	0	
	東通村	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	炊飯器 2器
	風間浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	
	佐井村	1	2	0	1	0	2	1	0	0	-	-	0	炊飯器 2器
三戸地区	三戸町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-	-	0	
	五戸町	4	11	3	1	0	8	3	5,000	0	0	0	0	炊飯器 2器
	田子町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	0	
	南部町	1	1	1	0	0	1	1	0	0	-	-	1	炊飯器 3器
	階上町	6	21	3	3	0	21	8	0	0	-	-	0	
	新郷村	1	5	1	0	0	5	2	0	-	2	-	0	
	おいらせ町	1	4	1	0	0	4	1	0	-	-	-	0	炊飯器 2器
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
町村計		31	92	24	6	0	86	37	20,000	5	3	0	5	
合計		105	243	85	16	0	261	129	65,000	5	3	0	7	

令和3年度 赤十字救援車「博愛号」使用状況調

地区区分名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考	
市	青 森 市					
	青 森 市	H29	4,681	24,542		
	青森市浪岡	-	-	-	H29 廃止	
	弘 前 市	H11	1,851	25,877		
	八 戸 市		H12	5,171	141,555	
			H15	839	77,464	
			R 3	801	801	
	黒 石 市	H17	5,950	114,086		
	五所川原市					
	五所川原市	H30	3,080	14,712		
	五所川原市金木	H14	1,690	150,324		
	五所川原市市浦	H15	1,134	130,815		
	十 和 田 市	-	-	-	H28 廃止	
	三 沢 市		H17	5,140	110,804	
			R元	4,604	13,782	
	む つ 市					
	む つ 市	H18	4,483	157,822		
	むつ市川内	-	-	-	R 3 廃止	
	むつ市大畑	H 9	2,167	135,793		
	むつ市脇野沢	H17	2,653	116,497		
	つ が る 市		H15	107,693	299,270	
			H16	6,677	150,756	
			H11	2,003	104,081	
平 川 市	R 2	3,037	3,037			
市 計			163,654	1,772,018		
東地区	平 内 町	H29	5,976	33,352		
	外ヶ浜町	H16	4,046	124,558		
	今 別 町	H28	6,518	32,320		
	蓬 田 村	R元	4,605	14,218		
西地区	鱒ヶ沢町	R 3	1,368	1,368		
	深 浦 町	H29	10,472	63,775		
中地区	西目屋村	-	-	-	H25 廃止	
	板 柳 町	H15	2,682	103,133		
南地区	藤 崎 町	R元	3,523	10,546		
	大 鰐 町	R 3	1,527	1,527		
	田 舎 館 村	H30	1,129	8,156		

地区分区名		更新年度	当該年度 走行キロ数	延走行キロ数	備 考
北地区	中 泊 町	H28	4,542	36,214	
		H12	5,489	222,132	
	鶴 田 町	H30	4,324	23,316	
上北地区	野 辺 地 町	H20	4,519	75,839	
	七 戸 町	R 2	6,018	9,015	
	六 戸 町	H19	6,552	203,185	
	横 浜 町	H15	6,538	35,891	
	東 北 町	H17	4,172	89,536	
		R 3	661	661	
六ヶ所村	H29	8,670	56,444		
下北地区	大 間 町	H19	2,637	132,265	
	東 通 村	H21	6,961	148,365	
	風 間 浦 村	R 2	3,686	4,194	
	佐 井 村	R元	10,172	23,259	
三戸地区	三 戸 町	H16	3,824	171,434	
	五 戸 町	H21	3,691	141,802	
	田 子 町	H28	6,022	31,641	
	南 部 町	H28	6,318	44,186	
	階 上 町	H20	5,799	104,000	
	新 郷 村	H16	6,664	209,298	
		R 2	5,366	8,740	
	おいらせ町	H17	5,789	231,061	
H18		2,117	127,886		
町 村 計			162,377	2,523,317	
合 計			326,031	4,295,335	



2. 看護師養成事業

日本赤十字社では赤十字の理念に基づいた看護が実践できるよう、看護教育を行っている。また、このような理念に基づき、地域医療はもとより、国内外の災害救援の現場で即戦力として活躍できるような質の高い看護師を養成するべく、各都道府県支部では看護師養成事業を実施しており、当支部では、日本赤十字秋田看護大学において看護師の養成を行っている。

養成された学生は、卒業後に八戸赤十字病院へ勤務しつつ訓練を重ね、災害時に災害救護要員として医療救護班に編入される。

令和3年度の年次別養成者は次のとおりである

赤十字看護教育施設	年次	人数
日本赤十字秋田看護大学	1年	1名
	2年	2名
	3年	1名
	4年	2名
計	6名	



3. 救急法、健康生活支援講習等の講習普及事業

講習普及事業については、新型コロナウイルス感染症の感染状況や活動制限措置等に配慮しながら、一部実技の制限等を設け、以下のとおり講習普及を行った。

(1) 講習会実施状況

① 救急法

短期講習については、日常生活における事故の防止、手当の基本、心肺蘇生法等の短期講習を人と人が接触しない等の制限のもと実施した。

基礎講習については、暫定措置のもと、対象を限定して実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
基礎講習	22	327	324	0
救急員養成講習	0	0	0	0
短期講習	45	1,161	0	0
計	67	1,488	324	0

② 水上安全法

水と親しみ、水の事故から人命を守るために、泳ぎの基本と自己保全、事故防止、溺れた人の救助、応急手当の方法などの知識と技術を学ぶ講習を人と人が接触しない等の実技の制限のもと実施した。

講習種別	実施回数 (回)	受講者数 (人)	修了者数 (人)	養成者数 (人)
救助員Ⅰ養成講習	0	0	0	0
救助員Ⅱ養成講習	0	0	0	0
短期講習	15	487	0	0
計	15	487	0	0

※幼児安全法、健康生活支援講習の実施はなかった。

(2) 救急法等指導員在籍状況

各講習会の指導にあたる指導員の在籍状況は次のとおりである。(令和4年3月31日現在)

区 分	赤十字職員		ボランティア (人)	合 計 (人)
	支部 (人)	施設 (人)		
救 急 法	9	15	62	86
水 上 安 全 法	0	1	29	30
雪 上 安 全 法	0	0	0	0
健康生活支援講習	0	5	0	5
幼 児 安 全 法	1	4	6	11

(3) 講習普及事業における特色ある事業

青森県高等学校総合文化祭の赤十字部門で例年実施されている「救急法コンクール」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止された。



救急法講習会の様子



4. 赤十字奉仕団

県内の赤十字奉仕団は、各市町村に組織されている地域赤十字奉仕団と、支部直轄の青年・特殊赤十字奉仕団で組織され、総勢7,000名以上の団員で構成されている。

令和3年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動が制限されたが、感染対策を行いながらの防災研修やコロナ禍ならではのオンラインを使用した研修会など、コロナ禍のニーズを汲み取った活動をする奉仕団が多く見られた。なお、令和3年度は下記のテーマ・方針のもと各種活動に取り組んだ。

(1) 赤十字奉仕団活動テーマ

共に生きる喜びを分かちあう赤十字奉仕団活動
——地域と連携し防災・減災を普及しよう——

(2) 赤十字奉仕団育成強化方針

赤十字奉仕団は、赤十字の基本理念である「人道」の実現を第一の使命として、戦後まもなく全国各地に結成され、身近な地域社会においてボランティア活動を実践することを目的とし、日本赤十字社を支える大きな力として赤十字事業の推進にあたってきた。

近年、地震や大雨、台風等の自然災害の多発化や被害の大規模化により、被災者支援のためのボランティアに寄せられる期待は高まっている。

一方、自助を基盤とした地域コミュニティでの防災・減災への取り組みが重要視されており、その一環として、赤十字奉仕団としても平時から地域住民や行政、各種団体等との連携を図ることが求められている。

また、少子高齢化社会において、赤十字奉仕団として安定的かつ継続的な社会活動の推進や、より良い地域づくりのための一助となるべく、誰もが参加しやすいボランティア環境を整備する必要がある。

これまで培ってきた知識や経験、赤十字の強みである組織力を十分に生かし、主体的な奉仕団活動の促進と、災害時における連携強化を図っていく。

(3) 赤十字奉仕団重点施策

1. 社会のニーズを反映した主体的で積極的な赤十字奉仕団活動の促進
2. 災害時の備えと活動の強化
3. 地域との連携と協働、他ボランティア団体や奉仕団相互、青少年（こども）赤十字等との交流促進
4. 地域広報媒体やSNS等を活用した広報活動の充実
5. 赤十字奉仕団員の意識向上やスキルアップに繋がるための研修等の充実
6. 赤十字会員増強・活動資金増収運動への協力

(4) 赤十字奉仕団組織の状況について（令和4年3月31日現在）

① 令和3年度末時点の組織の状況

	団 数	分団数	団 員 数		合 計
			男 性	女 性	
地域奉仕団	47	212	1,137	5,785	6,922
青年奉仕団	3	0	41	117	158
特殊奉仕団	9	25	344	304	648
合 計	59	237	1,522	6,206	7,728

② 組織の状況の推移

	団 数	分団数	団 員 数		合 計	備 考
			男 性	女 性		
令和3年度	59	237	1,522	6,206	7,728	
令和2年度	59	245	1,738	7,594	9,332	
令和元年度	60	248	1,743	7,666	9,409	

(5) 赤十字奉仕団組織現況（令和4年3月31日現在）

① 地域奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
市	青 森 市	S33.9.9	内 海 貞 子	5	6	6	148	154	町会有志 市内有志
	青森市浪岡分区	S34.9.30	小 倉 保 英	0	0	18	125	143	民生委員 保健協力員
	弘 前 市	H20.4.1	小 柳 紀八郎	15	70	198	789	987	婦人有志 町会有志
	黒 石 市	S33.5.20	北 山 リ ッ	4	19	0	120	120	連合婦人会
	五所川原市	S33.9.15	小 野 慶 子	7	4	0	388	388	連合婦人会 市民有志
	金 木 町	S50.3.27	外 崎 れい子	5	0	0	151	151	連合婦人会
	市 浦	S51.4.30	木津谷 清 蔵	5	33	0	59	59	行政連絡員 婦人会
	十和田市	H17.1.1	畑 中 チ ヨ	9	23	148	171	319	婦人・町内有志
	三 沢 市	S50.7.12	沼 田 弘 子	3	0	3	97	100	婦人有志・市民有志
	む つ 市	S49.3.30	海老名 進	5	0	17	60	77	町会有志 婦人会
	むつ市市内	S50.2.1	石 倉 司	0	8	2	160	162	連合婦人会 町内有志
	むつ市脇野沢	S50.6.28	濱 田 順 子	8	0	0	104	104	連合婦人会
	むつ市大畑分区	S50.3.24	伝 法 百合子	6	0	2	104	106	連合婦人会他
	つがる市	H18.4.1	吉 田 博 身	5	15	81	304	385	民生委員 婦人会 行政連絡員
	平川市平賀	S52.1.27	小笠原 勝 則	5	0	27	98	125	ボランティアグループ
	平川市尾上	S33.9.19	西 谷 桂 子	2	0	0	19	19	連合婦人会
	計 16団			84	178	502	2,897	3,399	
東地区	平 内 町	S48.10.9	三津谷 志津子	3	11	0	90	90	婦人会
	外ヶ浜町	H17.4.1	高 森 キクエ	3	16	32	278	310	婦人会 町内有志
	今 別 町	S33.9.5	阿 部 和 江	7	0	0	56	56	連合婦人会 婦人会OB 町内有志
	蓬 田 村	S38.9.23	小 野 富美子	3	0	0	39	39	連合婦人会 婦人有志
		計 4団			16	27	32	463	495
西地区	鱒ヶ沢町	S53.8.11	澤 田 賢 治	6	31	27	179	206	民生委員 町内有志 婦人会
	深 浦 町	H18.4.1	堀 内 カ ッ	11	0	11	162	173	民生委員 連合婦人会
		計 2団			17	31	38	341	379
中南地区	西目屋村	S53.6.28	三 上 文 子	3	0	1	31	32	民生委員 連合婦人会 食生活改善委員 老人C連合会
	板 柳 町	S51.11.30	米 澤 ノブ子	0	0	0	22	22	婦人・町内有志
	藤 崎 町	H18.4.1	中 西 み き	2	13	0	108	108	婦人会
	大 鰐 町	S36.10.13	工 藤 幸 子	3	0	0	39	39	婦人有志
	田 舎 館 村	S51.8.9	工 藤 泰 子	0	0	12	71	83	民生委員 保健協力員
		計 5団			8	13	13	271	284
北地区	鶴 田 町	S49.4.1	宮 本 弘 子	2	0	0	23	23	婦人会
	中泊町分区中里	S53.9.1	川 島 久 幸	3	0	5	86	91	民生委員、婦人会
	中泊町分区小泊	S36.10.13	秋 元 英 子	3	0	6	85	91	婦人会 村内有志
		計 3団			8	0	11	194	205

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班 数	男	女	計	組織母体
上北地区	野辺地町	S33.9.1	太田 富江	4	0	0	54	54	連合婦人会
	七戸町	H21.4.1	盛田 恵津子	2	14	0	61	61	民生委員 手話サークル 更生保護女性会 婦人有志
	六戸町	S50.12.1	佐藤 喜久男	0	0	2	20	22	婦人会 有志
	横浜町	S50.2.14	竹田 礼子	4	0	5	59	64	民生委員 ボランティアグループ
	東北町	H17.12.15	原 子 スワ子	0	0	0	39	39	婦人会 町内有志
	六ヶ所村	S51.12.24	葛西 奈栄子	0	0	5	114	119	子供会世話人 青年・婦人会 有志
	計 6団				10	14	12	347	359
下北地区	大間町	S52.2.10	千葉 良司	2	0	0	83	83	婦人会
	東通村	S51.7.5	伊藤 貢子	6	0	0	80	80	連合婦人会
	風間浦村	S53.1.28	原 子 恒子	4	0	0	64	64	連合婦人会
	佐井村	S36.10.13	内藤 要	15	0	158	200	358	婦人会 有志 他
	計 4団				27	0	158	427	585
三戸地区	三戸町	S49.9.7	藤村 立夫	2	0	21	53	74	民生委員 婦人会
	五戸町	H16.7.1	川崎 由希子	9	0	1	160	161	連合婦人会
	田子町	S50.7.21	川村 武司	4	54	296	178	474	老人クラブ 自治会 婦人会 民生委員
	南部町	H18.4.1	新井山 美智子	11	7	27	179	206	民生委員 老人クラブ 婦人会 母の会 有志
	階上町	S36.10.13	山内 良子	3	13	1	47	48	有志
	新郷村	S50.2.27	佐藤 久美子	4	0	0	43	43	自治会代表 婦人会
	おいらせ町	H18.4.1	吉田 長一	9	0	25	185	210	民生委員 老人クラブ 有志
	計 7団				42	74	371	845	1,216
合計 47団				212	337	1,137	5,785	6,922	

※地域奉仕団の地区区分は、青森県行政機関設置条例に定める地域県民局（地域健康福祉部）の所管に基づいている板柳町が中南地区、おいらせ町が三戸地区となっている。



ハイゼックス袋を使用した炊き出しの方法を学ぶ
木浪学園赤十字ボランティア



海外たすけあい街頭募金をする家庭看護法奉仕団

② 特別奉仕団

区分	奉仕団名	結成年月日	委員長名	分団数	班数	男	女	計
青年奉仕団	平賀(休団)	S41. 2. 14	長 浜 貴 弘	0	0	0	0	0
	佐井村	S56. 4. 1	田 中 伸 弥	0	0	22	11	33
	木浪学園赤十字ボランティア	H25. 6. 25	小笠原 珠理	0	0	19	106	125
	計 3団			0	0	41	117	158
特殊奉仕団	点訳・音訳・デイジー編集	S44. 1. 19	柴 田 眞理子	7	6	13	163	176
	水上安全法	S37. 7. 25	江 良 直 志	0	0	14	18	32
	救急法	S44.11.12	小 寺 芳 人	5	0	48	37	85
	アマ無線	S47. 5. 21	佐 藤 眸	7	0	93	1	94
	碓ヶ関家庭看護法	S52. 3. 8	大 川 富 子	0	0	2	18	20
	黒石市家庭看護法	S57. 3. 1	高 橋 チ ヨ	0	0	0	18	18
	岩木山パトロール隊	S59. 4. 29	一 戸 繁 輝	0	0	48	2	50
	支部家庭看護法	S61.11.18	山 本 初 枝	0	0	0	15	15
	青森県青少年賛助	H14. 7. 25	佐 藤 光 則	6	0	126	32	158
	計 9団			25	6	344	304	648

(6) 令和3年度赤十字奉仕団支部委員会名簿

役 職	氏 名	所属奉仕団
委員長	沼 田 弘 子	三沢市赤十字奉仕団委員長
副委員長	海老名 進	むつ市赤十字奉仕団委員長
副委員長	小 野 慶 子	五所川原市赤十字奉仕団委員長

(7) 令和3年度赤十字奉仕団指導講師名簿

担当地区	氏 名	
東青地区	工 藤 耕 弘	湯 沢 富 雄
西北五地区	小田川 修 三	野 呂 良 悦
中弘南黒地区	山 本 仁 志	五十嵐 敬 昌
上十三地区	河 島 靖 岳	天 内 不 二 子
むつ下北地区	吉 田 寛	二本柳 卓
三八地区	佐 藤 光 則	中 村 正

令和3年度 赤十字奉仕団関係実施状況（日赤本社・支部ほか）

月 日	行 事 名	開催場所等
4月9日(金)	赤十字奉仕団指導講師会議	支部
24日(土)～25日(日)	青年赤十字奉仕団全国協議会	Web方式
30日(金)	赤十字奉仕団支部委員会（県下委員長会議）	書面開催
5月21日(金)	郡市地区・町村分区事務担当者研修会	Web方式
28日(金)	赤十字奉仕団中央委員会	Web方式
6月5日(土)	青年赤十字奉仕団第1ブロック協議会	Web方式
8月27日(金)	三戸地区奉仕団委員長・事務担当者会議	書面開催
9月13日(月)	むつ下北地区奉仕団委員長・事務担当者会議	書面開催
17日(金)	赤十字奉仕団基礎研修会	Web方式
22日(水)	第1ブロック委員長会議	書面開催
27日(月)	中南地区奉仕団委員長・事務担当者会議	書面開催
10月7日(木)	東青地区奉仕団委員長・事務担当者会議	Web方式
28日(木)～31日(日)	赤十字ボランティアリーダー研修会	Web方式
11月2日(火)	西北地区奉仕団委員長・事務担当者会議	サンルート五所川原
19日(金)	郡市地区・町村分区関係者会議	Web方式
12月1日(水)～25日(土)	NHK海外たすけあいキャンペーン	全国一斉
1月24日(月)～26日(水)	赤十字奉仕団支部指導講師研修会	日赤本社
2月1日(火)～28日(月)	赤十字会員増強・活動資金増強運動月間	県内一円
10日(木)	赤十字奉仕団強化推進会議	支部
3月8日(火)	上十三地区奉仕団委員長・事務担当者会議	書面開催
中止	全国赤十字大会	—
	赤十字奉仕団リーダーシップ研修会	—
	各地区赤十字奉仕団活動研究会	—



5. 青少年赤十字

青少年赤十字は、将来を担う青少年が赤十字を正しく理解し、進んで赤十字運動に参加することを通じて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるように、日常生活の中で、望ましい人格と精神を自らつくりあげることが目的とした事業であり、教師等を指導者として、幼稚園・保育所（園）、小・中・高等学校、特別支援学校の中に組織され、「気づき、考え、実行する」という態度目標に基づき、学校・幼児教育の中で進められている。

令和3年度においては、417の施設・学校から総数38,516名のメンバーが登録した。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動が制限されたが、感染対策を講じながら、各加盟施設・学校において各種の活動に取り組んだ。



孤槌保育園（つがる市）の施設訪問の様子



本社主催スタディー・プログラム（Web会議方式）の様子



県支部主催高校リーダー研修プログラムの様子



第1B支部青少年赤十字指導者研究会の様子

(1) 令和3年度青少年赤十字加盟登録状況

① 加盟施設・学校数

区分	加盟校数	加盟校数内訳		学級 グループ数	登録人員数		
		継続加盟	新規加盟		男	女	計
幼稚園	29	29	0	117	937	904	1,841
保育所(園)	175	174	1	725	4,987	4,824	9,811
小学校	106	105	1	890	8,655	8,125	16,780
中学校	51	51	0	387	4,098	4,858	8,956
高等学校	52	52	0	52	379	684	1,063
特別支援学校	4	4	0	18	40	25	65
計	417	415	2	2,189	19,096	19,420	38,516

※ 指導者数 5,052

② 加盟状況

幼稚園			
継続加盟	29	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	0		
統廃合	0		
脱退・休止	0		
保育所(園)			
継続加盟	174	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	1	泊保育所(六ヶ所村)	
統廃合	0		
脱退・休止	3	みどり(弘前市) / 泊第二(六ヶ所村) / 函南(八戸市)	
小学校			
継続加盟	105	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	1	南小学校(五所川原市)	
統廃合	4	育成(つがる市) / 三和(弘前市) / 大蛇(階上町) / 小舟渡(階上町)	
脱退・休止	0		
中学校			
継続加盟	51	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	0		
統廃合	2	奥戸(大間町) / 野沢(新郷村)	
脱退・休止	2	船沢(弘前市) / 牛滝(佐井村)	
高等学校			
継続加盟	52	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	0		
統廃合	0		
脱退・休止	0		
特別支援学校			
継続加盟	4	別紙 一覧表のとおり	
新規登録	0		
統廃合	0		
脱退・休止	0		

③ 令和3年度 青少年赤十字地区別加盟登録一覧

令和4年3月31日現在

東青地区							西北五地区							
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	
青森市	1 青中短1	1 和幸	1 野内	1 北	1 青森西	1 青森第一養護	五所川原市	1 金木	1 七和	1 五所川原	1 金木	1 五所川原商業		
	2 青中短2	2 幸畑	2 高田	2 浦町	2 東興学園	2 青森豊				2 三好	2 市浦	2 金木		
	3 青中短3	3 千富	3 荒川	3 佃	3 青森中央					3 三輪		3 五所川原		
	4 油川	4 佃	4 浪岡北	4 荒川	4 青森北					4 東峰		4 五所川原第一		
	5 東奥	5 泉川	5 浪岡南	5 東	5 明の星					5 栄				
	6 あすなろ	6 あおりみなみこども園	6 本郷	6 西	6 青森東					6 金木				
		7 中央文化		7 戸山	7 青森					7 松島				
		8 若芽		8 浪岡	8 青森南					8 いずみ				
		9 戸山		9 筒井	9 青森工業					9 南				
		10 青森東こども園			10 青森山田						1 いなほ	1 柏	1 森田	1 木造
		11 あかしや			11 浪岡			つがる市		2 菰植	2 穂波	2 車力		
		12 浪岡若葉こども園			12 北斗					3 しげた				
		13 しらゆり			13 青森商業					4 もりた				
		14 こども園 瑞穂								5 かしわこども園				
		15 合浦保								6 かしわあつふるこども園				
		16 ゆうゆうきつ青森							鯉ヶ沢町			1 西海	1 鯉ヶ沢	
		17 浦町									2 舞戸			
		18 青森甲田こども園						深浦町			1 みはる	1 いわさき	1 大戸瀬	1 深浦校舎
		19 青森山田こども園								2 みよし	2 修道			
		20 青森認定こども園								3 えの木				
平内町	1 山彦	1 東和	1 山口				板柳町			1 板柳北				
		2 小湊	2 小湊											
		3 口広	3 東											
		4 山彦												
		5 青空												
外ヶ浜町	1 風のまちこども園			1 三厩			中泊町	1 中里こども園		1 小泊		1 中里		
今別町		1 今別こども園					鶴田町		1 水元			1 鶴田		
蓬田村		1 蓬田	1 蓬田	1 蓬田										
校種別計	8	27	10	11	13	2	校種別計	2	11	17	6	8	0	
地区合計	71						地区合計	44						

中弘南黒地区							上十三地区							
市町村名	幼稚園	保育園 (所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園 (所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	
弘前市		1 大東	1 石川 26 青柳	1 石川	1 弘前中央		十和田市	1 さつき	1 ほなみ	1 藤坂		1 三本木		
		2 高杉	2 東目屋 27 岩木	2 津軽	2 東奥義塾				2 十和田めぐみ	2 松陽		2 十和田西		
		3 ようせい	3 第三大成 28 自得	3 新和	3 弘前実業				3 きく	3 下切田		3 三本木農業		
		4 やまぶき	4 三省	4 第一	4 弘前工業				4 緑と太陽	4 高清水				
		5 めぐみ	5 ボランティア大開	5 第二	5 柴田学園				5 みきの					
		6 青女子	6 東	6 第三	6 弘前南									
		7 大開	7 文京	7 第四	7 弘前		三沢市	1 いちい	1 チャリティー第1	1 三川目			1 三沢商業	
		8 ふじこども園	8 城東	8 第五	8 弘前東				2 チャリティー第2					
		9 弘前すみれ	9 致遠	9 裾野			野辺地町						1 野辺地	
		10 こどもの城	10 新和	10 相馬										
		11 ひまわり	11 小沢	11 東目屋			七戸町		1 榎林こども園	1 城南			1 七戸	
		12 致遠	12 大和沢	12 北辰					2 道ノ上こども園					
		13 若草	13 豊田	13 南			おいらせ町		1 錦ヶ丘					
		14 城東	14 大成						2 あゆみ					
		15 ふたば	15 時敏						3 川口					
		16 堀越こども園	16 朝陽						4 下田こども園					
		17 サンこども園	17 北						5 本村こども園					
		18 石川こども園	18 福村						6 深沢					
		19 こどもの櫓	19 子供の館				六戸町		1 ひのでこども	1 大曲	1 七百		1 六戸	
		20 烏井野	20 こどもの城						2 こども園おひさま	2 開知				
		21 大浦	21 桔梗野				横浜町							
		22 高杉												
		23 西				東北町		1 中央ボプラ						
		24 船沢						2 水喰						
		25 城西						3 ボプラ						
								4 乙供文化						
西日屋村			1 西目屋											
黒石市		1 中郷こども園		1 中郷	1 黒石	1 黒石養護	六ヶ所村							
		2 アリス							1 千歳平こども園	1 千歳平			1 六ヶ所	
		3 美郷こども園							2 泊保育所					
		4 たけみ												
平川市		1 日の出こども園	1 碓ヶ関	1 平賀西	1 尾上総合									
		2 あらや		2 碓ヶ関										
		3 大坊こども園												
		4 はすね												
		5 碓ヶ関中央こども園												
		6 高城こども園												
		7 平賀あすなろ												
		8 平川中央こども園												
藤崎町			1 常盤	1 藤崎										
			2 藤崎	2 明德										
			3 藤崎中央											
大鰐町	1 おおわに文化													
田舎館村		1 田舎館こども園	1 田舎館											
校種別計	1	34	34	18	10	1	校種別計	2	23	9	1	8	0	
地区合計			98				地区合計			43				

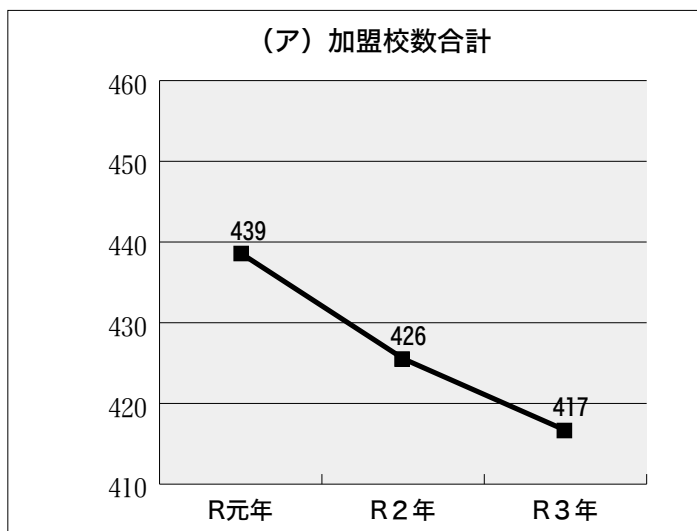
むつ下北地区							三八地区								
市町村名	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援	市町村名	幼稚園	保育園(所)			小学校	中学校	高等学校	特別支援
むつ市	1 あたご	1 エピナ	1 脇野沢	1 脇野沢	1 むつ工業		八戸市	1 旭ヶ丘	1 城下	26 藤覚	51 江陽こども園	1 多賀		1 千葉学園	1 田小ひまわり
	2 むつひまわり	2 大畑中央	2 正津川		2 田名部			2 かもめ	2 こごくら	27 白銀台	52 旭ヶ丘	2 鮫		2 八戸東	
	3 星美	3 柳町ひまわり	3 関根		3 大湊			3 こもれびの森	3 浜市川	28 南売市	53 新井田	3 吹上		3 八戸西	
		4 小畑第二百合	4 第三田名部					4 高館	4 轟木	29 おおきこども園	54 小久保	4 江南		4 八戸商業	
		5 よしの	5 奥内					5 長者	5 さめ	30 ひまわり	55 日計	5 新井田		5 八戸	
		6 大平	6 大畑					6 マリアンハウス	6 桔梗野	31 こどもの城	56 第二さえずりの森	6 島守		6 八戸工業	
		7 近川						7 八戸学院	7 すみれ	32 白山台		7 桔梗野		7 八工大一高	
		8 並木						8 第二しのめ	8 テレジア	33 うぐいす				8 八工大二高	
		9 白百合						9 聖アンナ	9 いちのさわ	34 太陽と海の子				9 向陵	
		10 ゆきのこ							10 岬台	35 下長こども園				10 八戸学院光星	
		11 海の子							11 多賀台	36 小中野					
		12 あすなろ							12 大杉平	37 しみず					
		13 苦生ひまわり							13 中居林こども園	38 白鷗					
大間町	1 大間	1 うみの子	1 奥戸	1 奥戸			14 虹の丘	39 類家							
東通村		2 大間	1 東通	1 東通			15 三条	40 河原木中央							
風間浦村		1 風間浦					16 びりのかげエディカレ	41 桐の葉							
佐井村		1 佐井村	1 佐井	1 佐井			17 エンゼル子どもの家	42 明星こども園							
							18 尻内	43 サンフラワー							
							19 根城こども園	44 福聚							
							20 木の実園	45 むつみ							
							21 三島	46 ほうりん							
							22 すぎのこ	47 貴福							
							23 根岸	48 是川							
							24 びりのかげウィング	49 こぼと							
							25 湊	50 さえずりの森							
							三戸町	1 ミューズ			1 杉沢	1 三戸			
							五戸町	1 江渡	1 めぐみ		1 五戸	1 五戸			
											2 上市川	2 倉石			
											3 切谷内				
							田子町	1 田子			1 田子	1 田子			
											3 清水頭				
							南部町	1 あかね	1 チェリー		1 南部	1 南部			
									2 福地		2 剣吉	2 福地			
											3 福田	3 杉沢			
											4 向	4 名川			
											5 名久井				
							階上町		1 石鉢		1 石鉢	1 道仏			
									2 階上		2 階上	2 階上			
									3 道仏		3 赤保内				
											4 道仏				
							新郷村								
校種別計	4	17	10	4	3	0	校種別計	12	63			26	11	10	1
地区合計	38						地区合計	123							

県計	幼稚園	保育園(所)	小学校	中学校	高等学校	特別支援
令和3年度末計	29	175	106	51	52	4
総計	417	※令和2年度末加盟校数 426校		△9校		

④ 青少年赤十字加盟登録状況の推移

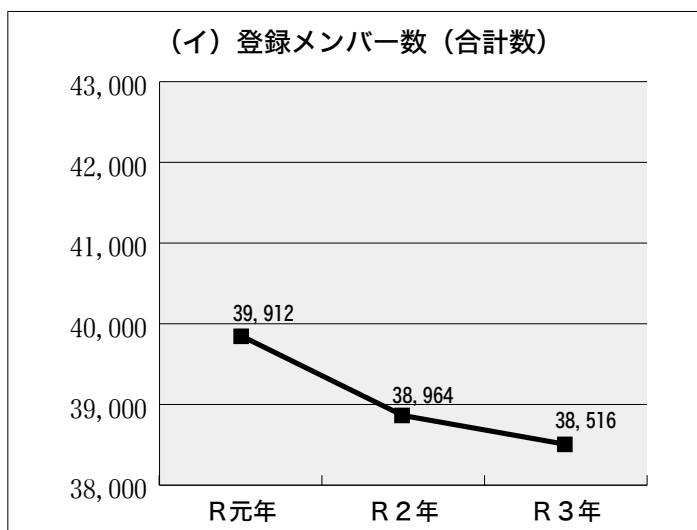
(ア) 加盟校数合計

年度	学校数
R 3 年	417
R 2 年	426
R 元年	439



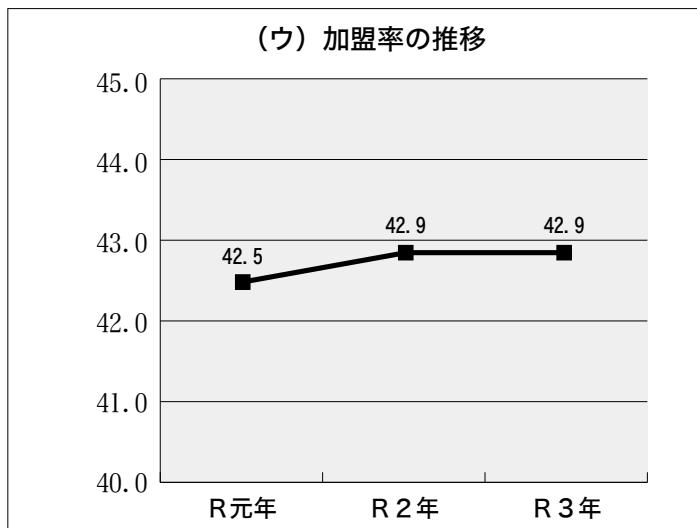
(イ) 登録メンバー数合計

年度	登録メンバー数
R 3 年	38,516
R 2 年	38,964
R 元年	39,912



(ウ) 加盟率の推移 ※幼保を除く

年度	加盟率
R 3 年	42.9
R 2 年	42.9
R 元年	42.5



(2) 青少年赤十字会議・研修会開催状況

名 称	月 日	会 場 (開催形式等)	参加者 (人)
青少年赤十字指導講師会議	6月4日(金)	日赤青森県支部	青少年赤十字指導講師10名
本社 リーダーシップ・ トレーニング・センター 指導者養成講習会	6月5日(土)	Web会議方式	参加者なし ※支部職員オブザーバー参加
本社 全国指導者協議会 総会・研修会	6月29日(火)	Web会議方式	(代理)賛助奉仕団委員長1名
本社 全国賛助奉仕団協議会総会	7月17日(土)	Web会議方式	賛助奉仕団委員長1名
青少年赤十字高校 リーダーシップ・ トレーニングプログラム	7月28日(水)	Web会議方式	高校メンバー51名
	7月29日(木)		
	8月3日(火)	八戸市福祉公民館	
	8月5日(木)	アウガ	
県指導者協議会理事会・ 指導主事等対象研修会	8月16日(月) 付承認	文書審議	県青少年赤十字指導者協議会 役員
本社 指導主事対象研究会	9月30日(木)	Web会議方式	県学校教育課指導主事1名
第1B指導者研究会	10月15日(金)	Web会議方式	第1B指導者17名
第1B賛助奉仕団会議	10月22日(金)	Web会議方式	第1B賛助奉仕団員22名
本社 スタディー・プログラム	12月25日(土)	Web会議方式	高校メンバー6名 指導者2名
	12月26日(日)		
青少年赤十字高校 リーダー研修プログラム	1月5日(水)	Web会議方式	高校メンバー34名 指導者7名
	1月6日(木)		
	1月7日(金)	日赤青森県支部	
第1B高校オンライン交流会	3月26日(土)	Web会議方式	高校メンバー6名、指導者2名

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止した諸行事

青森県高等学校総合文化祭青少年赤十字部門発表会(高文連主催)

(3) 令和3年度青森県青少年赤十字指導者協議会役員

役 職 名	氏 名	所 属 校 (施 設)
会 長	俵 藤 晶	十和田市立藤坂小学校
副会長(幼・保)	田 頭 正 嗣	高館幼稚園長
副会長(小)	三 橋 一 晃	五所川原市立南小学校
副会長(中)	今 智 人	弘前市立第五中学校長
副会長(高)	吉 田 繁 徳	県立八戸中央高等学校長

(4) 令和3年度青少年赤十字指導講師

担当地区	氏 名	
東 青 地 区	石 村 光 也	工 藤 耕 弘
西 北 五 地 区	近 藤 徹	鶴 賀 一 昭
中弘南黒地区	田 中 均	
上十三地区	丸 井 英 子	川 崎 守
むつ下北地区	沢 田 要 一	中 村 聡
三 八 地 区	中 村 正	
高等学校担当	瀧 本 ひろみ	

令和3年度 青森県青少年赤十字指導者協議会役員一覧

役員	事項/地区		東 青		西 北 五		中 弘 南 黒		上 十 三		む っ 下 北		三 八	
	所 属	氏 名	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属
会長・依藤 晶	理事	会 長	中村 薫	青森北中	三橋 一晃	五所川原南小	今 智人	第五中	依藤 晶	藤坂小	大島 忍	佐井小	峯 香代子	吹上小
		副 会 長	虻名 将之 菊池 信吾 中居 敬子 花田 惇	あおりみなみこども園 小湊小 青森東中 青森山田高	工藤 敦子 小島 史靖 大瀬 雅生	しげた保 栄小 木造高	武田 芳子 成田 王仁 藤田 盛浩 三上浩一郎	ようせい保 豊田小 明徳中 弘前南高	山内 豪士 小笠原小 見友 健二 岩川 亘宏	きく保 高清水小 七百中 三本木高	掛端 正広 長根 朋子 佐々木倫哉 玉井 勝弘	並木保 奥内小 佐井中 むつ工業高	田頭 正嗣 藤田 裕司 石渡 保 武内慎太郎 藤澤 重信	高館幼 道仏小 杉沢小 道仏中 八工大第一高
	専門委員	幼 児 部 会	小泉 隆人 蝦名 崇子 石村 康弘	幸畑保 山彦幼 しらゆり保			三浦 テツ 鈴木ちづ子 毛利シゲ子 中村 得仁	城東保 碓ヶ関中央こども園 サンこども園 やまぶき保	長嶺 寿子 古田 秀子 熊野 博文 蛭澤 正雄	ひのでこども園 いちい幼 川口保 中央ポブラ保	掛端 正広 中野 正子 品木扶美子 斉藤 典子	並木保 並木保 ゆきのこ保 エビナ保	小澤 一雅 田村 元 椛沢さやか 江渡 恵一 植村 宗和	すみれ保 長者幼 中居林こども園 めぐみ保 いちのさわ保
		小 学 校 部 会	大船 惠也 中屋久美子 出貝 幸浩	本郷小 山口小 浪岡南小	小山内祥子 松山 伸 外崎 淳郎	五所川原小 金木小 小泊小	木嶋 隆 西川 正之 齋藤真貴子 蔦谷 和子	西目屋小 高杉小 田舎館小 豊田小	畑山ゆかり 小泉 仁一 三上菜穂子	大曲小 三川目小 開知小	長根 朋子 平田あけみ 南谷 保子 平田 守	奥内小 佐井小 関根小 正津川小	佐藤 恵利 河原木怜奈 三橋 秀平 圓子 徹哉	吹上小 江南小 五戸小 福田小
中 学 校 部 会		横山 誠之 横山 公一 笹 弘道	筒井中 三厩中 浪岡中	山内 貴樹 会津記理子	鱒ヶ沢中 森田中	葛西 孝司 石岡 卓彦 角田奈央子 成田 一志	津軽中 第四中 第五中 津軽中	見友 健二	七百中	佐々木倫哉 大森 優花 畑中 里子 傳法 勇	佐井中 佐井中 東通中 脇野沢中	佐々木 亨 工藤 靖 長尾 祐子	福地中 名川中 田子中	
高 校 部 会	安江 道子 瀧澤 収作 石塚 智美 馬場 里美	青森東高 青森山田高 東奥学園高 青森明の星高	鈴木 則子 相馬 与乃 外崎 恵子 小山内幹子	木造高 五所川原商業高 鶴田高 五所川原第一高	三上由美子 佐藤 有代 水木 禎人	弘前高 弘前南高 弘前中央高	久保 晶子 上條 洋子 玉箱香奈子 小田留美子	三本木高 三本木農業高 七戸高 六戸高	玉井 勝弘 傳法 宏美 野坂 蘭子 南澤 英夫	むつ工業高 むつ工業高 大湊高 田名部高	天坂 美幸 小泉 美紗 相内 美羽	八戸工業高 八戸東高 千葉学園高		
副会長・田頭 正嗣	地区協議会事務局長	事 務 局 長	加福 欣克	青森北中	三橋 一晃	五所川原南小	幸山 一成	第五中	三沢 正幸	藤坂小	平田あけみ	佐井小	三浦 純平	吹上小
		局 員	村田 正茂	青森北中	石岡 春菜	五所川原南小	福士 浩一 葛西 貴子	第五中 第五中	野坂 洋一 中嶋佐知子 沢田 深雪	藤坂小 藤坂小 藤坂小	傳法 宏美 中野 正子	むつ工業高 並木保	佐々木 亨 仲山 啓	福地中 剣吉小
今	所 在	〒038-0052 青森市清水字浜元135の1 青森市立北中学校内 TEL017(754)2002Fax017(754)2084		〒037-0043 五所川原市字進沼2 五所川原市立南小学校内 TEL0173(34)3665Fax0173(34)3677		〒036-8103 弘前市川先二丁目4の1 弘前市立第五中学校内 TEL0172(27)3064Fax0172(27)3074		〒034-0041 十和田市相坂字小林355-1 十和田市立藤坂小学校内 TEL0176(23)2222Fax0176(23)2473		〒039-4711 佐井村佐井字糠森103の3 佐井村立佐井小学校内 TEL0175(38)2262Fax0175(38)4455		〒031-0003 八戸市吹上一丁目14の36 八戸市立吹上小学校内 TEL0178(44)0527Fax0178(44)0528		
		部 会 長	虻名 将之	あおりみなみこども園	工藤 敦子	しげた保	武田 芳子	ようせい保	山内 豪士	きく保	掛端 正広	並木保	田頭 正嗣	高館幼
吉田 繁徳	地区事務局長	部 会 長	鎌田 昭子	青森甲田こども園	長内まり子	しげた保			山内 幸子	きく保	中野 正子	並木保	原田 輝子	みどりのかぜ北ウイング
		局 員	我妻真智子	青森甲田こども園							品木扶美子	ゆきのこ保	岩崎加奈子	ミュージズ保
所 在	〒030-0855 青森市北金沢2丁目1番地6 青森甲田こども園内 TEL017(776)8680Fax017(718)3884		〒037-0102 つがる市稲垣町繁田母衣掛27-19 しげた保育園内 TEL0173(46)2250Fax0173(46)2275		〒036-8072 弘前市清野袋1丁目1-11 きく保育園内 TEL0172(32)5786Fax0172(32)5786		〒034-0088 十和田市西十四番町6-3 きく保育園内 TEL0176(23)9066Fax0176(23)9066		〒035-0046 むつ市大曲1丁目2-3 並木保育園内 TEL0175(22)6500Fax0175(22)7322		〒039-1113 八戸市西白山台4-1-16 みどりのかぜ北ウイング内 TEL0178(27)3311Fax0178(27)3312			
	部 会 長	花田 惇	青森山田高	大瀬 雅生	木造高	三上浩一郎	弘前南高	岩川 亘宏	三本木高	玉井 勝弘	むつ工業高	藤澤 重信	八工大第一高	
高 校 部 会	部 会 長	白取 静子	青森山田高	鈴木 則子	木造高	佐藤 有代	弘前南高	久保 晶子	三本木高	傳法 宏美	むつ工業高	秋山 純子	八工大第一高	
	局 員	葛原 香織	青森山田高	佐々木俊雅	木造高			米田 哲子	三本木高	野坂 蘭子 南澤 英夫	大湊高 田名部高	諏訪 節子	八戸西高	
指 導 講 師	所 在	〒030-8520 青森市青葉3丁目13-40 青森山田高等学校内 TEL017(739)2001Fax017(739)1950		〒038-3143 つがる市木造日向73-2 県立木造高等学校内 TEL0173(42)2066Fax0173(42)5189		〒036-8247 弘前市大字大開四丁目1の1 県立弘前南高等学校内 TEL0172(88)2231Fax0172(88)2232		〒034-0085 十和田市西五番町7の1 県立三本木高等学校内 TEL0176(23)5341Fax0176(23)2141		〒035-0082 むつ市文京町22の7 県立むつ工業高等学校内 TEL0175(24)2164Fax0175(29)2893		〒031-0021 八戸市白銀町字右岩淵通7の10 八戸工業大学第一高等学校内 TEL0178(33)5121Fax0178(34)3942		
		石村 光也		近藤 徹		田中 均	瀧本ひろみ (高校)	丸井 英子		沢田 要一		中村 正		
		工藤 耕弘		鶴賀 一昭				川崎 守		中村 聡				



6. 国際活動

日本赤十字社は、スイスのジュネーブにある赤十字国際委員会・赤新月社連盟を中心に世界192の国と地域の赤十字（赤新月社）と連携しながら、開発途上国の援助や飢餓・紛争や自然災害等で苦しんでいる人々に援助の手をさしのべると共に国際親善の強化に努めている。

国際赤十字・赤新月社連盟は、大規模災害発生に備え、ERU（緊急対応ユニット）を配備しており、日本赤十字社では基礎保健型ERUを保有し、国際的な救援要請に応える準備を整えている。当支部管内ではERU要員1名を有している。

(1) 国際援助活動

①NHK海外たすけあい（第39回）

窓口区分		取扱件数（件）	取扱金額（円）
支部扱い	支部管内取扱	97	223,558
	NHK各放送局	1	46,819
	地方銀行	35	273,116
合計		133	543,493

②国際救援金受付状況

救援金名	取扱件数（件）	取扱金額（円）
2021年ハイチ地震救援金	11	96,712
アフガニスタン人道危機救援金	9	66,730
トンガ大洋州噴火津波救援金	16	289,326
ウクライナ人道危機救援金	67	3,768,090
合計	103	4,220,858

(2) 国際協力事業

○救急法普及支援事業

ラオス赤十字社が行う救急法普及事業に対して、財政支援や資機材整備支援等をはじめ、指導者のスキルアップのための技術指導の支援等を実施している。

○青少年赤十字海外支援事業

バヌアツ赤十字社支援事業として、災害に対し脆弱な同国支援のため、子どもたちの防災意識の向上、学校における災害リスクの軽減を目的に防災教育事業及びボランティアのネットワーク強化などへの支援を実施している。

※予算計上されていた「ネパール青少年赤十字海外支援事業」については、同国における新型コロナウイルス感染症の急拡大を受けて、同感染症への緊急対応を優先する方針が定められ、青少年赤十字海外支援事業を含む通常事業が見合わせとされた。

◎国際協力事業に対する令和3年度の拠出額は次のとおりである。

第1ブロック各支部拠出金総額	3,375,000円
内、当支部負担額	351,000円

(3) 三沢米軍基地内アメリカ赤十字社との連携

三沢米軍基地内にあるアメリカ赤十字社三沢基地支部と連携し、相互事業への協力を行っている。



7. 社会福祉事業

(1) 青森県支部受託青森県立はまなす医療療育センター

① 概要

児童福祉法第42条第2号及び第43条第2号に規定されている医療型障害児入所施設及び医療型児童発達支援センター並びに障害者総合支援法第5条第6項、第5条第7項及び第5条第8項に規定されている療養介護、生活介護及び短期入所の運営業務を青森県より委託を受け、また、医療法に規定する病院としての機能による小児リハビリテーションを中心に、小児整形外科疾患や障害児の小児科治療を主として行っている。

(ア)医療型障害児入所施設 肢体不自由42床 重症心身障害40床

肢体不自由児及び重症心身障害児を入所させて、保護、日常生活の指導、自立自活に必要な知識技能の付与及び治療を行っている。

(イ)医療型児童発達支援センター 40名

肢体不自由児及び重症心身障害児を通わせて、日常生活における基本的動作の指導、自立自活に必要な知識技能の付与及び集団生活への適応のための訓練並びに治療を行っている。地域支援として、保育所等訪問支援、障害児相談支援及び計画相談支援の事業を行っている。

(ウ)療養介護 肢体不自由42床 重症心身障害40床

障害者を入所させて、機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護及び日常生活上の世話並びに供与を行っている。

(エ)生活介護 20名

障害者を通わせて、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動及び生産活動の機会の提供等の便宜を供与している。

(オ)短期入所（空床型）

障害者等を短期間入所させて、入浴、排せつ及び食事の介護等の便宜を供与している。

(カ)外来診療

乳幼児の運動発達診察や小児整形外科疾患の診察と治療、そして、障害児の小児診療を行っている。

(キ)療育相談

各市町村及び県南・むつ市の3保健所とともに障害児の早期発見のために、赤ちゃんの運動発達相談を行い、また、必要により在宅の障害児（者）の家庭訪問を行っている。

② 年間利用児（者）延数及び外来患者数

(ア)医療型障害児入所施設・療養介護（肢体）	延	11,408人	（1日平均 31.3人）
(イ)医療型障害児入所施設・療養介護（重心）	延	9,635人	（1日平均 26.4人）
(ウ)医療型児童発達支援センター	延	1,644人	（1日平均 6.8人）
(エ)短期入所	延	156人	（1日平均 0.4人）
(オ)生活介護	延	1,015人	（1日平均 4.2人）
(カ)外来患者数	延	11,074人	（1日平均 45.8人）

③ 医療社会活動

活 動 内 容	日 数	県市町村	派遣人員
療 育 相 談 (保 健 所)	15 ^日	2	15 ^人
在宅重度身体障害者訪問診査 (市 町 村)	3	3	9
小・中学校脊椎側彎症等運動器 学校検診 (八 戸 市)	19	1	19
合 計	37	6	43



夏祭り（花火）令和3年8月31日



おやつ作り 令和3年11月20日



8. 医療事業

(1) 八戸赤十字病院

八戸赤十字病院は、赤十字の理念や赤十字思想の実践を通じ、八戸市救急医療施設病院群輪番制病院（救急告示病院）、地域医療支援病院、地域災害拠点病院として地域の救急医療、質の高い医療、災害救護に取り組んでいる。

新型コロナウイルス感染症に対しては、重点医療機関の指定を受け、県や市、保健所、近隣医療機関と連携しながら、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と感染症患者に対する治療確保に努めている。また、救急患者を断らないという病院方針を堅持し、一般診療の提供も継続して行い、八戸地域保健医療圏の医療の充実・安定に努めた。

新型コロナワクチンの接種に関しては、医療従事者接種、職域接種、八戸市集団接種、青森県広域接種の運営に携わるとともに、県からのワクチン接種副反応対応専門医療機関の求めに対応している。

災害救護に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により訓練等は中止になったが、積極的にWeb研修を受講するなど災害救護に関する新たな知識の習得に励んだ。

経営状況については、入院収益は、精神科常勤医師の減により全体としての入院患者数が減少したことやコロナ対応病床を増やしたことから目標額に及ばない結果となった。外来収益は、新型コロナ感染拡大を受け検査件数が増大したことで前年度収益額を上回ったものの、診療単価がほぼ横ばいであったことから目標額に及ばない結果となった。しかしながら、新型コロナ対応のため病床と人員の確保を図ったことから前年以上の補助金が得られ、総収支は黒字となった。

新型コロナ終息の見通しがつかない中、地域医療の確保と新型コロナへの対応を両立しながら、健全な経営を維持し、基本理念の実践に向けて取り組んでいかなければならないと考えている。

① 許可病床数及び入院基本料

一般病床 374床 一般病棟入院基本料 7：1

精神病床 60床 精神病棟入院基本料 10：1 計 434床

② 診療科目（標榜診療科）

消化器内科、糖尿病代謝内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、膠原病内科、血液内科、精神科、脳神経内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、歯科口腔外科

③ 年間取扱患者数

ア. 入院患者 111,304人（一日平均 304.9人 前年度比 △ 5.4人）

イ. 外来患者 156,999人（一日平均 648.8人 前年度比 +34.7人）

④ 病院における医療社会活動

一般診療の他に、年間に院内外において行った医療社会活動の状況は、次表のとおりであった。

令和3年度活動	開催日数	開催箇所数	対象者数	従事者数		
				職員	その他	計
母 親 学 級	0	0	0	0	0	0
栄 養 相 談	239(回)	1	4,133	924	0	924
各 種 検 診	54	2	2,829	53	0	53
患 者 慰 安	0	0	0	0	0	0
健 康 生 活 支 援 講 習 会	0	0	0	0	0	0
A E D 短 期 講 習 会	0	0	0	0	0	0
訪 問 看 護	0	0	0	0	0	0
育 児 相 談	50	1	873	300	0	300
保 健 指 導	0	0	0	0	0	0



9. 血液事業

青森県赤十字血液センターでは本社事業運営の基本方針に則り「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」及び関係法令を遵守し、採血事業者及び医薬品販売業者としての責務である血液製剤の安全性の確保・向上及び安定供給の確保並びに献血者の保護に努め確実な事業を遂行している。

令和3年度においても年間を通じ、医療機関の需要に見合った血液を安定的に確保するとともに、少子高齢化に伴い献血可能人口が減少する中、将来にわたり血液製剤を安定供給する体制に向けた対策を継続して実施してきた。10代から30代の若年層に対しては、国が策定する中期目標「献血2025」を踏まえ、全国で効果のあった具体的な増加策を取り入れる等、大学生・高校生に対して献血者の増加につながる積極的な取り組みを展開した。

令和3年度の献血受け入れ計画は県内医療機関で使用する輸血用血液の需要予測に基づき、必要とする血液製剤を過不足なく安定的に供給するため献血者数47,002人、目標量19,364.0Lと目標設定した。

これらの目標量を確保するため、当センターでは成分献血及び400mL献血の推進に主眼をおき、地方公共団体等の協力のもと、献血者の年齢層に応じた献血推進はもとより、幼少期を含めた若年層、企業や団体等を普及啓発の対象として効果的な活動や重点的な献血者募集を実施するとともに、複数回献血者の一層の増加を図り、更には健康的な高年齢層献血者の受け入れを積極的に実施した。

具体的には各種キャンペーンの展開、献血セミナーの実施、広報媒体及び学生献血ボランティア等の活用、新規事業所の開拓等を行い、コロナ禍の影響で献血会場の中止や延期が発生する中においても献血者の確保に努めた。

青森県赤十字血液センターは、血液法の理念である、より安全な血液製剤をより安定的に医療機関へ供給する体制を目指して、より一層の努力を続けていかなければならないと考えている。

令和3年度事業概要

(1) 献血状況

献血者数は47,662人で、前年度に比較すると1,326人の減となり、対前年比では97.3%となった。(令和2年度の献血者は48,988人)

献血量は20,777.0Lで、前年度に比較すると559.9Lの減となり、対前年比では97.4%となった。(令和2年度の献血量は21,336.9L)

(2) 供給状況

県内医療機関(病院等)への血液製剤供給本数は、200mL換算で193,823単位となり、前年度に比較すると2,443単位の減、対前年比では98.8%となった。(令和2年度の供給本数は196,266単位)

(3) 令和3年度 月別施設別献血状況

① 令和3年度月別施設別献血状況（4～3月）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
青森バス	200 mL	25	25	15	85	22	23	111	46	47	17	8	7	431	
	400 mL	1,271	1,359	1,415	1,340	1,277	1,427	1,351	1,284	1,344	1,328	1,258	1,372	16,026	
	計	1,296	1,384	1,430	1,425	1,299	1,450	1,462	1,330	1,391	1,345	1,266	1,379	16,457	
	確保量(L)	513	549	569	553	515	575	563	523	547	535	505	550	6,497	
	稼働日数 一台平均	37 35.0	35 39.5	38 37.6	38 37.5	37 35.1	37 39.2	41 35.7	38 35.0	40 34.8	36 37.4	35 36.2	40 34.5	40 34.5	452 36.4
八戸バス	200 mL	14	11	19	82	8	23	73	46	104	13	4	9	406	
	400 mL	721	678	723	688	645	616	638	728	650	656	694	662	8,099	
	計	735	689	742	770	653	639	711	774	754	669	698	671	8,505	
	確保量(L)	291	273	293	292	260	251	270	300	281	265	278	267	3,321	
	稼働日数 一台平均	16 45.9	15 45.9	16 46.4	16 48.1	15 43.5	15 42.6	16 44.4	16 48.4	16 47.1	15 44.6	14 49.9	16 41.9	16 41.9	186 45.7
全血バス合計	200 mL	39	36	34	167	30	46	184	92	151	30	12	16	837	
	400 mL	1,992	2,037	2,138	2,028	1,922	2,043	1,989	2,012	1,994	1,984	1,952	2,034	24,125	
	計	2,031	2,073	2,172	2,195	1,952	2,089	2,173	2,104	2,145	2,014	1,964	2,050	24,962	
	確保量(L)	804.6	822.0	862.0	844.6	774.8	826.4	832.4	823.2	827.8	799.6	783.2	816.8	9,817.4	
	稼働日数 一台平均	53 38.3	50 41.5	54 40.2	54 40.6	52 37.5	52 40.2	57 38.1	54 39.0	56 38.3	51 39.5	49 40.1	56 36.6	56 36.6	638 39.1
青森ルーム	200 mL	24	16	9	20	22	26	21	22	18	18	26	19	241	
	400 mL	316	373	298	292	286	341	342	307	306	357	327	292	3,837	
	血漿	457	500	466	517	493	531	518	506	450	450	491	517	5,896	
	血小板(分割)	65	70	59	88	80	66	79	85	82	86	71	72	903	
	血小板(分割以外)	43	54	54	47	66	66	65	61	58	52	37	73	676	
	計	905	1,013	886	964	947	1,030	1,025	981	914	963	952	973	11,553	
	確保量(L)	436.2	488.7	432.5	473.7	463.0	497.9	497.6	479.0	444.4	464.4	460.0	476.2	5,613.5	
稼働日数 一日平均	30 30.2	31 32.7	30 29.5	31 31.1	31 30.5	30 34.3	31 33.1	30 32.7	30 30.5	30 32.1	28 34.0	31 31.4	31 31.4	363 31.8	
弘前ルーム	200 mL	23	21	23	20	31	31	27	17	37	15	25	34	304	
	400 mL	288	357	322	299	328	287	385	343	334	331	337	280	3,891	
	血漿	479	480	426	467	505	500	508	467	456	442	457	433	5,620	
	血小板(分割)	51	63	55	77	45	39	33	34	35	46	62	65	605	
	血小板(分割以外)	60	49	59	44	68	73	75	73	75	66	40	45	727	
	計	901	970	885	907	977	930	1,028	934	937	900	921	857	11,147	
	確保量(L)	436.3	466.0	423.3	441.6	468.2	447.9	487.9	446.7	442.7	431.9	441.6	411.8	5,346.0	
稼働日数 一日平均	30 30.0	31 31.3	30 29.5	31 29.3	31 31.5	30 31.0	31 33.2	30 31.1	30 31.2	30 30.0	28 32.9	31 27.6	31 27.6	363 30.7	
合計	目標													0.0	
	200 mL	86	73	66	207	83	103	232	131	206	63	63	69	1,382	
	400 mL	2,596	2,767	2,758	2,619	2,536	2,671	2,716	2,662	2,634	2,672	2,616	2,606	31,853	
	血漿	936	980	892	984	998	1,031	1,026	973	906	892	948	950	11,516	
	血小板(分割)	116	133	114	165	125	105	112	119	117	132	133	137	1,508	
	血小板(分割以外)	103	103	113	91	134	139	140	134	133	118	77	118	1,403	
	合計	3,837	4,056	3,943	4,066	3,876	4,049	4,226	4,019	3,996	3,877	3,837	3,880	47,662	
	確保量(L)	1,674.1	1,773.1	1,714.9	1,754.9	1,702.9	1,769.9	1,815.4	1,746.1	1,712.2	1,692.3	1,681.0	1,701.2	20,777.0	
	稼働日数 一日平均	113 34.0	112 36.2	114 34.6	116 35.1	114 34.0	112 36.2	119 35.5	114 35.3	116 34.4	111 34.9	105 36.5	118 32.9	118 32.9	1,364 34.9
	初回献血者数(人)	297	305	273	302	215	234	385	248	352	174	192	176	3,153	
再来献血者数(人)	3,540	3,751	3,670	3,764	3,661	3,815	3,841	3,771	3,644	3,703	3,645	3,704	44,509		
初回献血率(%)	7.7	7.5	6.9	7.4	5.5	5.8	9.1	6.2	8.8	4.5	5.0	4.5	6.6		

② 年齢別献血者数推移調

区 分	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
16 ～ 19 ^才	1,938 ^人	1,893 ^人	3,831 ^人	1,467 ^人	1,555 ^人	3,022 ^人	1,284 ^人	1,502 ^人	2,786 ^人
20 ～ 29	4,028	2,563	6,591	4,116	2,753	6,869	3,964	2,629	6,593
30 ～ 39	5,578	2,452	8,030	5,533	2,471	8,004	5,114	2,352	7,466
40 ～ 49	8,868	3,644	12,512	9,169	3,850	13,019	8,673	3,688	12,361
50 ～ 59	8,778	3,174	11,952	9,292	3,574	12,866	9,158	3,714	12,872
60 ～ 69	3,524	1,226	4,750	3,879	1,329	5,208	4,162	1,422	5,584
計	32,714	14,952	47,666	33,456	15,532	48,988	32,355	15,307	47,662

③ 年齢別献血者構成比率及び前年度比調

区 分	構成比率	前年比	前年増減
16 ～ 19 ^才	5.8%	92.2%	▲ 236 ^人
20 ～ 29	13.8	96.0	▲ 276
30 ～ 39	15.7	93.3	▲ 538
40 ～ 49	25.9	94.9	▲ 658
50 ～ 59	27.0	100.0	6
60 ～ 69	11.7	107.2	376
計	100.0	97.3	▲ 1,326

④ 職業別献血者推移調

区 分	令和元年度			令和2年度			令和3年度		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
公 務 員	8,032 ^人	1,570 ^人	9,602 ^人	8,645 ^人	1,778 ^人	10,423 ^人	8,716 ^人	1,881 ^人	10,597 ^人
会 社 員	16,959	5,547	22,506	17,489	5,911	23,400	16,739	6,126	22,865
高 校 生	1,233	1,269	2,502	876	1,012	1,888	548	937	1,485
その他学生	1,288	1,523	2,811	1,321	1,493	2,814	1,431	1,372	2,803
そ の 他	5,202	5,043	10,245	5,125	5,338	10,463	4,921	4,991	9,912
計	32,714	14,952	47,666	33,456	15,532	48,988	32,355	15,307	47,662

(4) 令和2年・3年度月別血液供給数

(200mL換算)

月区分	令和2年度 県内供給数	令和3年度 県内供給数
4 月	14,981	17,018
5 月	15,961	15,719
6 月	16,972	16,184
7 月	16,521	16,612
8 月	16,109	15,834
9 月	14,845	15,348
10 月	15,666	15,603
11 月	15,938	16,780
12 月	17,389	17,110
1 月	17,461	16,517
2 月	16,010	14,721
3 月	18,413	16,377
合 計	196,266	193,823

※200mL換算とは、200mL献血から分離された赤血球を1単位、血漿を1単位(120mL)、400mLから分離された赤血球を2単位・血漿を2単位(240mL)、血漿成分献血を4単位(480mL)、血小板成分献血を5～20単位として計算したものである。



(5) 多回数献血者の表彰

◎献血回数 100回以上

<金色有功章>

市町村	人数
青森市	17
弘前市	16
八戸市	3
十和田市	3
五所川原市	3
平川市	2
鶴田町	2
むつ市	1
六ヶ所村	1
おいらせ町	1
田舎館村	1
東通村	1
つがる市	1
板柳町	1
藤崎町	1
外ヶ浜町	1
計	55

◎献血回数 70回以上

<銀色有功章>

市町村	人数
青森市	38
弘前市	30
八戸市	10
三沢市	5
おいらせ町	5
十和田市	3
黒石市	3
五所川原市	2
むつ市	2
平川市	2
野辺地町	2
田舎館村	2
板柳町	2
七戸町	1
つがる市	1
東北町	1
今別町	1
鶴田町	1
中泊町	1
大鰐町	1
三戸町	1
六戸町	1
計	115





10. 赤十字活動資金の募集状況並びに会員(社員)の現況

令和3年度の赤十字会員(社員)増強・活動資金増収運動は、「赤十字を支えるあなたの“ちから”」をスローガンに掲げ、県民に対する赤十字への理解浸透を図り、次のとおり展開した。

(1) 令和3年度 募集目標額

① 目標額 216,000,000円

(内訳)

地区分区目標額 202,980,000円

支部目標額 13,020,000円

② 運動の時期

令和3年2月1日から同月28日までを「運動強調月間」とし、通年募集した。

(各市地区・町村分区は、最も効果的と考えられる時期に募集運動を展開した。)

(2) 赤十字会員(社員)増強・活動資金増収運動にかかる主な強化策

口座振替やクレジットカード決済等により活動資金協力をを行う会員(社員)、遺贈・相続財産寄付の募集体制のほか、CSR(企業の社会的責任)やSDGs(持続可能な開発目標)に積極的に取り組む法人とのパートナーシップ及び法人会員(社員)への訪問募集などの強化を図った。

(3) 令和3年度 赤十字会員(社員)増強・活動資金増収運動の状況

① 募集実績額

令和3年度の募集実績額は前年度比7.04%の増となった。主なる増収の要因としては、個人からの大口寄付金と法人による寄付金額及び協力件数の増加が挙げられる。

《地区分区・支部別の募集実績額》

区 分		目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率 (%)
総 額		216,000,000	196,848,127	91.13
内 訳	地区分区目標額	202,980,000	141,763,727	69.84
	支部目標額	13,020,000	55,084,400	423.08

《会費・寄付金の収入状況》

区 分		会 費 (円)	寄 付 金 (円)	合 計
総 額		140,410,475	56,437,652	196,848,127
内	一 般	137,188,475	35,986,877	173,175,352
	地区分区扱い	132,665,488	6,595,239	139,260,727
	支部扱い	4,522,987	29,391,638	33,914,625
訳	法 人	3,222,000	20,450,775	23,672,775
	地区分区扱い	503,000	2,000,000	2,503,000
	支部扱い	2,719,000	18,450,775	21,169,775

② 令和3年度 赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動の募集実績表

区分 地区・分區別		A目標額 (円)	B実績額 (円)	B/A (%)	区分 地区・分區別		A目標額 (円)	B実績額 (円)	B/A (%)	
市	青森市	42,798,000	23,187,086	54.18	南地区	藤崎町	2,234,000	2,053,800	91.93	
	旧青森市	39,987,000	20,824,861	52.08		大鰐町	2,013,000	1,299,300	64.55	
	旧浪岡町	2,811,000	2,362,225	84.04		田舎館村	1,234,000	1,562,368	126.61	
	弘前市	25,997,000	12,316,555	47.38		計	5,481,000	4,915,468	89.68	
	八戸市	33,941,000	19,916,490	58.68	北地区	鶴田町	2,228,000	1,889,550	84.81	
	黒石市	5,151,000	3,063,200	59.47		中泊町	2,262,000	1,855,400	82.02	
	五所川原市	8,561,000	5,686,000	66.42		旧中里町	1,616,000	1,111,100	68.76	
	旧五所川原市	6,384,000	4,046,000	63.38		旧小泊村	646,000	744,300	115.22	
	旧金木町	1,703,000	1,163,800	68.34	計	4,490,000	3,744,950	83.41		
	旧市浦村	474,000	476,200	100.46	上北地区	野辺地町	2,363,000	1,779,300	75.30	
	十和田市	9,336,000	5,880,680	62.99		七戸町	2,674,000	2,589,532	96.84	
	三沢市	5,761,000	3,850,166	66.83		旧七戸町	1,516,000	1,177,100	77.65	
	むつ市	9,619,000	5,584,481	58.06		旧天間林村	1,158,000	1,412,432	121.97	
	旧むつ市	6,632,000	3,973,381	59.91		六戸町	1,401,000	1,864,700	133.10	
	旧川内町	973,000	617,600	63.47		横浜町	822,000	832,000	101.22	
	旧大畑町	1,580,000	920,500	58.26		東北町	2,795,000	2,435,800	87.15	
	旧脇野沢	434,000	73,000	16.82		六ヶ所村	1,680,000	1,448,900	86.24	
	つがる市	5,786,000	5,521,379	95.43		計	11,735,000	10,950,232	93.31	
	平川市	4,886,000	5,821,720	119.15		下北地区	大間町	1,020,000	618,200	60.61
	旧尾上町	1,339,000	1,642,270	122.65	東通村		1,214,000	1,086,400	89.49	
旧平賀町	3,013,000	3,944,450	130.91	風間浦村	465,000		413,500	88.92		
旧碓ヶ関村	534,000	235,000	44.01	佐井村	501,000		545,650	108.91		
				計	3,200,000		2,663,750	83.24		
東地区	計	151,836,000	90,827,757	59.82	三戸地区	三戸町	1,902,000	2,154,600	113.28	
	平内町	2,314,000	4,105,500	177.42		五戸町	2,930,000	3,770,100	128.67	
	今別町	764,000	685,000	89.66		田子町	1,049,000	994,100	94.77	
	蓬田村	508,000	786,500	154.82		南部町	3,161,000	3,425,650	108.37	
	外ヶ浜町	1,474,000	1,362,100	92.41		階上町	2,062,000	2,086,900	101.21	
	計	5,060,000	6,939,100	137.14		新郷村	434,000	579,000	133.41	
西地区	鱒ヶ沢町	2,088,000	1,958,600	93.80	おいらせ町	2,912,000	2,938,870	100.92		
	深浦町	1,903,000	1,468,250	77.15	計	14,450,000	15,949,220	110.38		
	計	3,991,000	3,426,850	85.86	支部直轄扱	13,020,000	55,084,400	423.08		
中地区	西目屋村	315,000	417,000	132.38	市	151,836,000	90,827,757	59.82		
	板柳町	2,422,000	1,929,400	79.66	町村合計	51,144,000	50,935,970	99.59		
	計	2,737,000	2,346,400	85.73	市町村合計	202,980,000	141,763,727	69.84		
				合計	216,000,000	196,848,127	91.13			

※日赤本社が募集を行っている口座振替等の実績は支部直轄扱に含む

③ 令和3年度 赤十字会員(社員)増強・活動資金増収運動の募集実績額対前年度比較表

区分 地区・分區別		令和3年度		B / A 目標額 達成率	C 令和2年度 実績額(円)	B - C 対前年度 比較増減額(円)	対前年度実績率	
		A 目標額(円)	B 実績額(円)				B/C 達成率	増減率
市地区	青森市	39,987,000	20,824,861	52.08%	21,468,792	-643,931	97.00%	-3.00%
	青森市浪岡	2,811,000	2,362,225	84.04%	2,360,831	1,394	100.06%	0.06%
	弘前市	25,997,000	12,316,555	47.38%	11,737,065	579,490	104.94%	4.94%
	八戸市	33,051,000	19,007,640	57.51%	19,392,863	-385,223	98.01%	-1.99%
	八戸市南郷	890,000	908,850	102.12%	965,100	-56,250	94.17%	-5.83%
	黒石市	5,151,000	3,063,200	59.47%	3,026,450	36,750	101.21%	1.21%
	五所川原市	6,384,000	4,046,000	63.38%	4,245,273	-199,273	95.31%	-4.69%
	五所川原市金木	1,703,000	1,163,800	68.34%	1,228,600	-64,800	94.73%	-5.27%
	五所川原市市浦	474,000	476,200	100.46%	504,000	-27,800	94.48%	-5.52%
	十和田市	9,336,000	5,880,680	62.99%	6,330,450	-449,770	92.90%	-7.10%
	三沢市	5,761,000	3,850,166	66.83%	3,742,492	107,674	102.88%	2.88%
	むつ市	6,632,000	3,973,381	59.91%	4,842,996	-869,615	82.04%	-17.96%
	むつ市川内	973,000	617,600	63.47%	647,100	-29,500	95.44%	-4.56%
	むつ市大畑	1,580,000	920,500	58.26%	950,500	-30,000	96.84%	-3.16%
	むつ市脇野沢	434,000	73,000	16.82%	356,500	-283,500	20.48%	-79.52%
	計	151,836,000	90,827,757	59.82%	93,406,343	-2,578,586	97.24%	-2.76%
東地区	平内町	2,314,000	4,105,500	177.42%	2,157,500	1,948,000	190.29%	90.29%
	今別町	764,000	685,000	89.66%	702,100	-17,100	97.56%	-2.44%
	蓬田村	508,000	786,500	154.82%	792,500	-6,000	99.24%	-0.76%
	外ヶ浜町	1,474,000	1,362,100	92.41%	1,423,100	-61,000	95.71%	-4.29%
	計	5,060,000	6,939,100	137.14%	5,075,200	1,863,900	136.73%	36.73%
西地区	鱒ヶ沢町	2,088,000	1,958,600	93.80%	2,376,500	-417,900	82.42%	-17.58%
	深浦町	1,903,000	1,468,250	77.15%	1,500,700	-32,450	97.84%	-2.16%
	計	3,991,000	3,426,850	85.86%	3,877,200	-450,350	88.38%	-11.62%
中地区	西目屋村	315,000	417,000	132.38%	413,000	4,000	100.97%	0.97%
	板柳町	2,422,000	1,929,400	79.66%	1,961,100	-31,700	98.38%	-1.62%
	計	2,737,000	2,346,400	85.73%	2,374,100	-27,700	98.83%	-1.17%
南地区	藤崎町	2,234,000	2,053,800	91.93%	2,056,600	-2,800	99.86%	-0.14%
	大鰐町	2,013,000	1,299,300	64.55%	1,310,400	-11,100	99.15%	-0.85%
	田舎館村	1,234,000	1,562,368	126.61%	1,580,818	-18,450	98.83%	-1.17%
	計	5,481,000	4,915,468	89.68%	4,947,818	-32,350	99.35%	-0.65%
北地区	鶴田町	2,228,000	1,889,550	84.81%	1,908,610	-19,060	99.00%	-1.00%
	中泊町	2,262,000	1,855,400	82.02%	1,890,425	-35,025	98.15%	-1.85%
	計	4,490,000	3,744,950	83.41%	3,799,035	-54,085	98.58%	-1.42%
上北地区	野辺地町	2,363,000	1,779,300	75.30%	1,809,450	-30,150	98.33%	-1.67%
	七戸町	2,674,000	2,589,532	96.84%	2,632,755	-43,223	98.36%	-1.64%
	六戸町	1,401,000	1,864,700	133.10%	1,905,600	-40,900	97.85%	-2.15%
	横浜町	822,000	832,000	101.22%	832,500	-500	99.94%	-0.06%
	東北町	2,795,000	2,435,800	87.15%	3,155,400	-719,600	77.19%	-22.81%
	六ヶ所村	1,680,000	1,448,900	86.24%	1,444,300	4,600	100.32%	0.32%
	計	11,735,000	10,950,232	93.31%	11,780,005	-829,773	92.96%	-7.04%
下北地区	大間町	1,020,000	618,200	60.61%	633,100	-14,900	97.65%	-2.35%
	東通村	1,214,000	1,086,400	89.49%	1,109,700	-23,300	97.90%	-2.10%
	風間浦村	465,000	413,500	88.92%	418,500	-5,000	98.81%	-1.19%
	佐井村	501,000	545,650	108.91%	547,100	-1,450	99.73%	-0.27%
	計	3,200,000	2,663,750	83.24%	2,708,400	-44,650	98.35%	-1.65%
三戸地区	三戸町	1,902,000	2,154,600	113.28%	2,210,000	-55,400	97.49%	-2.51%
	五戸町	2,930,000	3,770,100	128.67%	3,795,600	-25,500	99.33%	-0.67%
	田子町	1,049,000	994,100	94.77%	1,001,050	-6,950	99.31%	-0.69%
	南部町	3,161,000	3,425,650	108.37%	3,526,450	-100,800	97.14%	-2.86%
	階上町	2,062,000	2,086,900	101.21%	2,103,267	-16,367	99.22%	-0.78%
	新郷村	434,000	579,000	133.41%	587,000	-8,000	98.64%	-1.36%
	おいらせ町	2,912,000	2,938,870	100.92%	2,856,180	82,690	102.90%	2.90%
計	14,450,000	15,949,220	110.38%	16,079,547	-130,327	99.19%	-0.81%	
支 部 直 轄		13,020,000	55,084,400	423.08%	39,856,991	15,227,409	138.21%	38.21%
市 計		151,836,000	90,827,757	59.82%	93,406,343	-2,578,586	97.24%	-2.76%
町 村 合 計		51,144,000	50,935,970	99.59%	50,641,305	294,665	100.58%	0.58%
市 町 村 合 計		202,980,000	141,763,727	69.84%	144,047,648	-2,283,921	98.41%	-1.59%
合 計		216,000,000	196,848,127	91.13%	183,904,639	12,943,488	107.04%	7.04%

④ 令和3年度 地区区分別の募集目標額達成状況

達成率区分	市地区	東地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三戸地区	合計	前年度との比較
150%以上		平内町 蓬田村						2	1
140%以上 150%未満								0	0
130%以上 140%未満				西目屋村	六戸町		新郷村	3	0
120%以上 130%未満				田舎館村			五戸町	2	-1
110%以上 120%未満	平川市						三戸町	2	-2
100%以上 110%未満	八戸市南郷 五所川原市市浦				横浜町	佐井村	南部町 階上町 おいらせ町	7	2
計	3	2	0	2	2	1	6	16	0
90%以上 100%未満	つがる市	外ヶ浜町	鱒ヶ沢町	藤崎町	七戸町		田子町	6	-4
80%以上 90%未満	青森市浪岡	今別町	鶴田町 中泊町		東北町 六ヶ所村	東通村 風間浦村		8	2
70%以上 80%未満			深浦町	板柳町	野辺地町			3	-1
60%以上 70%未満	五所川原市金木 三沢市 むつ市川内 五所川原市 十和田市				大鰐町		大間町	7	0
60%未満	むつ市 黒石市 むつ市大畑 八戸市 青森市 弘前市 むつ市脇野沢							7	3
計	14	2	4	3	4	3	1	31	0

(4) 赤十字活動資金の推移について

募集目標額対比並びに前年度募集実績額対比の3ヵ年の推移は次のとおりである。

① 対目標額

年 度	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	目 標 額 対 比	
			増 減 額 (円)	達 成 率 (%)
令和3年度	216,000,000	196,848,127	▲ 19,151,873	91.13
令和2年度		183,904,639	▲ 32,095,361	85.14
令和元年度		181,161,827	▲ 34,838,173	83.87

② 対前年度実績額

年 度	実 績 額 (円)	前 年 度 対 比	
		増 減 額 (円)	増 減 率 (%)
令和3年度	196,848,127	12,943,488	7.04
令和2年度	183,904,639	2,742,812	1.51
令和元年度	181,161,827	▲ 17,713,121	▲ 8.91

(5) 赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動の重点活動項目の推移について

赤十字会員（社員）増強・活動資金増収運動において、当支部が定める重点活動項目の推移は次のとおりである。

① 継続納入の促進（地区・分区募集分）

（単位：件）

年 度	協力者数 (a)	新規加入 (b)	脱 退 等 (c)	継続協力 (a)-(b)-(c)	前年度対比	
					増減数	増減率(%)
令和3年度	188,537	6,790	14,761	166,986	▲ 2,697	▲ 1.59
令和2年度	189,510	7,168	12,659	169,683	5,262	3.20
令和元年度	184,805	7,205	13,179	164,421	▲ 11,250	▲ 6.40

② 新規会員（社員）の確保・増進（地区・分区募集分）

（単位：人）

年 度	新規加入(a)	脱退等(b)	増減(a)-(b)
令和3年度	6,790	14,761	▲ 7,971
令和2年度	7,168	12,659	▲ 5,491
令和元年度	7,205	13,179	▲ 5,974

③ 会員（社員）の確保・増進（地区・分区募集分）

（単位：人）

年 度	協力会員	会 員	増 減	
			協力会員	会 員
令和3年度	186,278	2,259	▲ 923	▲ 50
令和2年度	187,201	2,309	4,809	▲ 104
令和元年度	182,392	2,413	▲ 10,792	▲ 416

④ 有功章社員の確保・増進

（単位：件）

年 度	銀色有功章	金色有功章
令和3年度	6	9
令和2年度	16	8
令和元年度	13	14

⑤ 法人会員（社員）の確保・増進

年 度	募集状況			募集状況	
	募集数（件）	協力法人（件）	協力率（%）	実績額（円）	増減率（%）
令和3年度	2,958	466	15.75	23,672,775	44.49
令和2年度	1,993	441	22.13	16,383,832	3.32
令和元年度	2,502	397	15.87	15,857,363	▲ 45.54

（6）口座振替会員（社員）等の確保

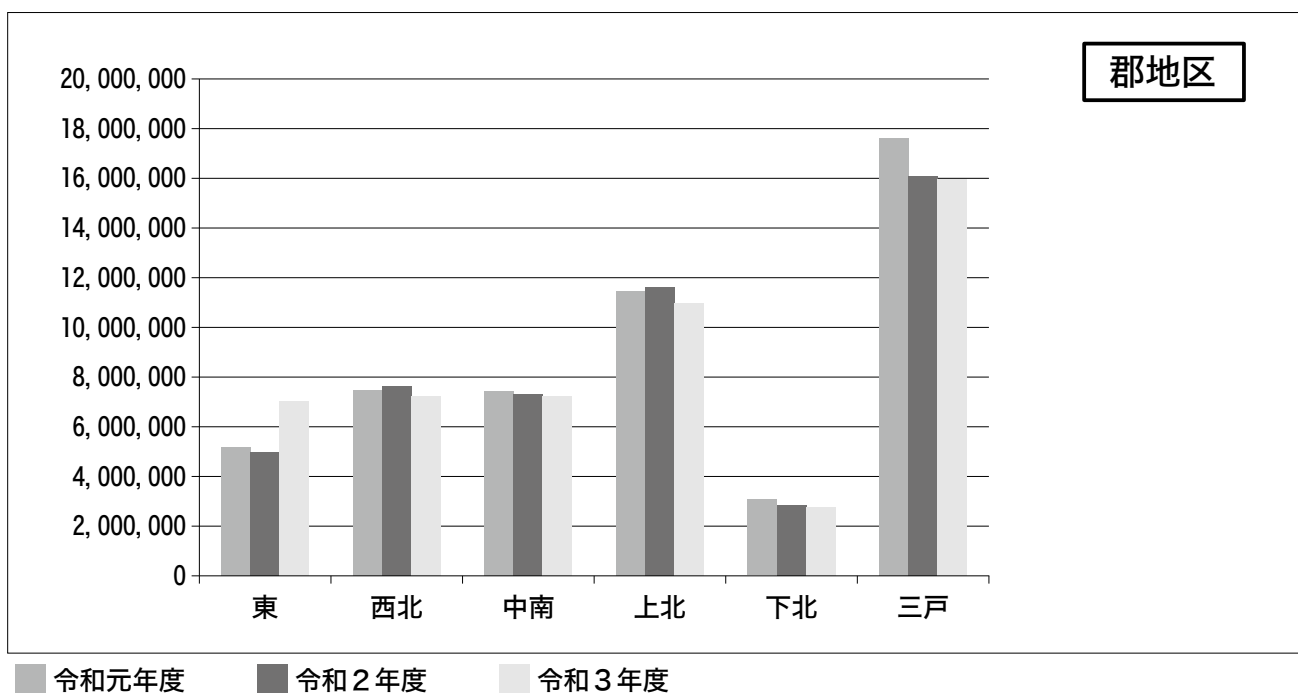
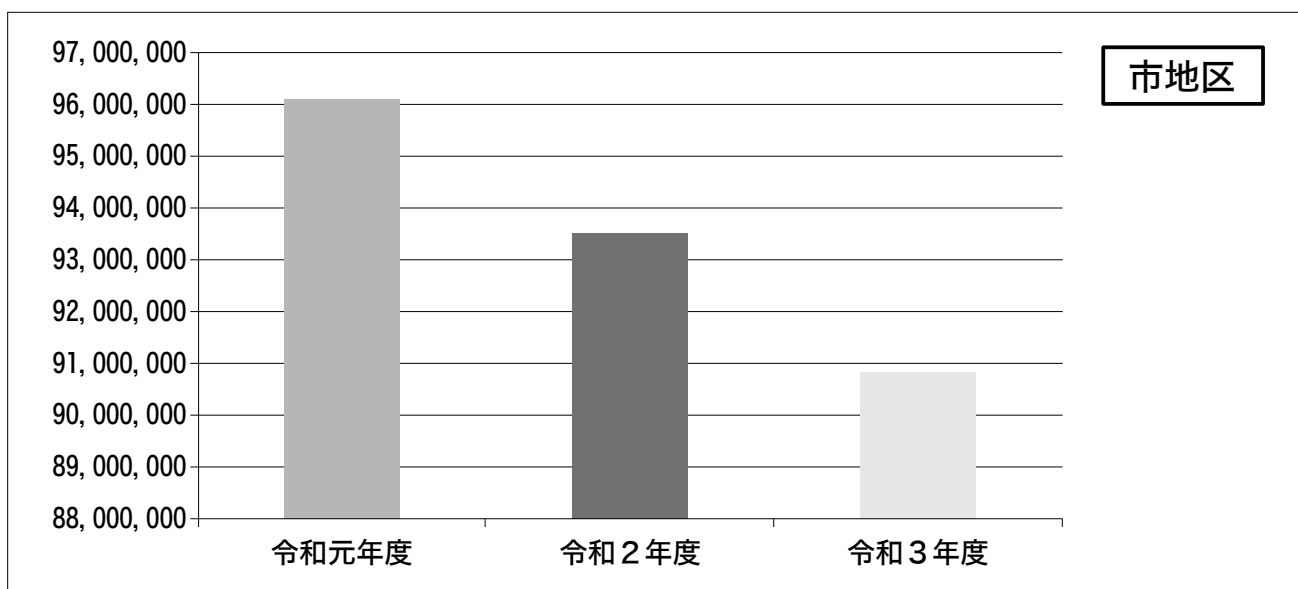
平成18年度より、日赤本社が募集を行っている「口座振替会員（社員）」等の加入状況並びに募集実績額の3ヵ年の推移は次のとおりである。

年 度	実績額（円）		件 数（件）		摘 要
		増減率（%）		増減率（%）	
令和3年度	3,805,487	4.32	660	27.17	口座振替、クレジットカード決済等 ※実績額は、当該会員在住の市地区・町村 分区の実績として、事業費・事務費交付 金を郡・市地区、町村分区に交付してい るもの
令和2年度	3,648,000	43.06	519	▲ 2.99	
令和元年度	2,550,000	0.28	535	10.31	

(7) 郡市地区別の推移について

郡市地区別の募集実績額の3ヵ年の推移は次のとおりである。

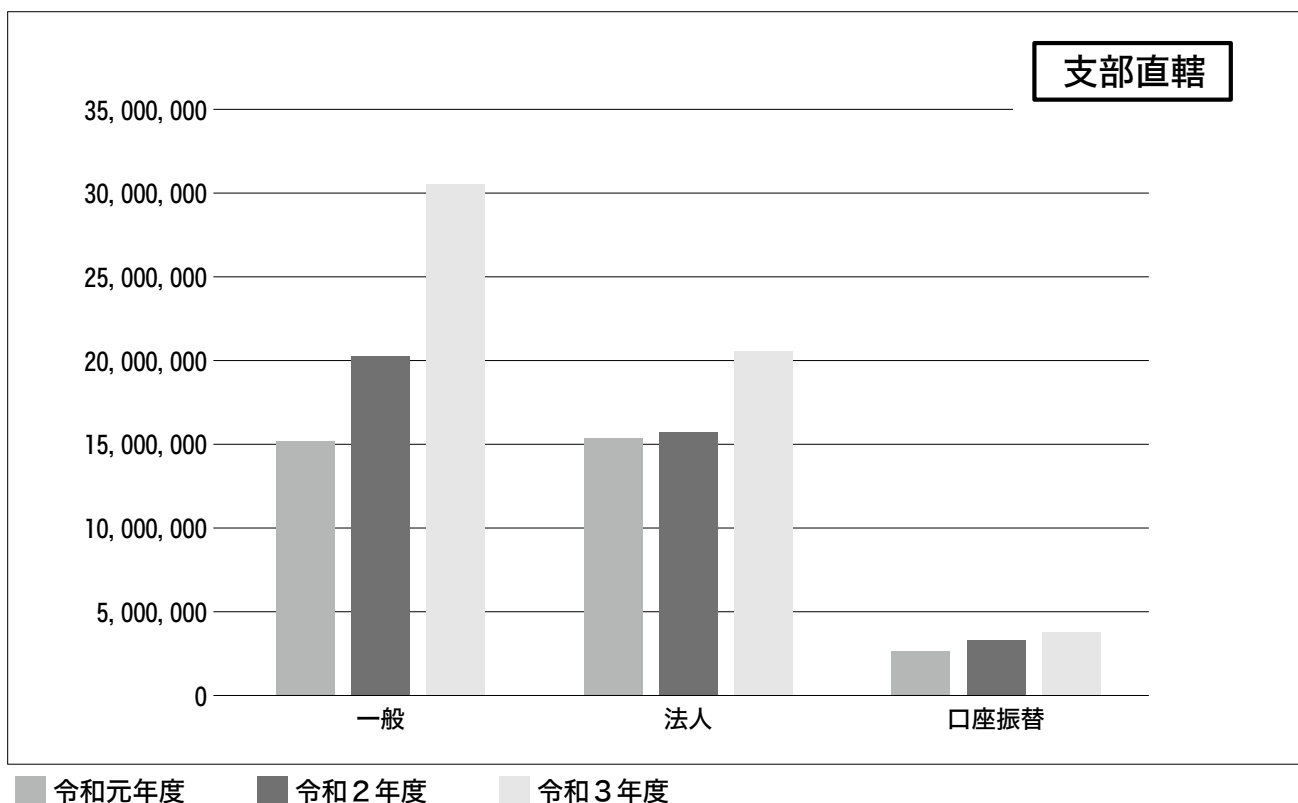
全 県	(単位：円)			
地区名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
市	96,133,763	93,406,343	90,827,757	
東	5,218,800	5,075,200	6,939,100	
西 北	7,512,860	7,676,235	7,171,800	
中 南	7,345,181	7,321,918	7,261,868	
上 北	11,497,694	11,780,005	10,950,232	
下 北	2,744,650	2,708,400	2,663,750	
三 戸	17,608,975	16,079,547	15,949,220	
計	148,061,923	144,047,648	141,763,727	



(8) 支部直轄扱いの推移について

支部直轄扱いの募集実績額の3ヵ年の推移は次のとおりである。

支部直轄		(単位：円)		
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
一 般	15,192,541	20,632,159	30,493,138	
法 人	15,357,363	15,576,832	20,785,775	
口 座 振 替	2,550,000	3,648,000	3,805,487	クレジットカード決済等含む
計	33,099,904	39,856,991	55,084,400	





11. 赤十字思想の普及と広報活動

(1) 全国赤十字大会

赤十字運動月間にあたり、赤十字会員の増強と赤十字思想の普及を図り、一層の社業進展を期するため、全国赤十字大会が5月20日、明治神宮会館（東京都）において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を考慮し、参会者の安全確保の観点から、中止となった。

(2) 赤十字活動資金功労表彰伝達式

令和3年中に、当支部に対して赤十字活動資金の支援を行った個人・法人に日本赤十字社並びに国の表彰制度にもとづく有功章等の伝達を行った。

期 日 令和4年3月29日（火）

場 所 ホテル青森（青森市）

伝 達 者 日本赤十字社青森県支部 支部長 三村 申吾

受章(賞)者件数 46個人・法人

表彰区分 功労区分		表彰区分					計
		金色 有功章	銀色 有功章	社長 感謝状	厚生労働大臣 感謝状（※）	紺綬褒章 （※）	
社 資 功 労	個 人	6	3	6	6	2	23
	法 人	4	6	13	0	0	23
合 計		10	9	19	6	2	46

（※）国の表彰



赤十字活動資金功労表彰伝達式に出席された受章（賞）者

(3) 広報活動の実施状況について

① 赤十字会員（社員）、活動資金の募集運動用資材の作成と配付

1) 広報ポスター（日赤本社作成）

作成数：4,400枚

仕様：B3、カラー印刷

活用内容：「道の駅」等市町村主要施設に掲出

2) 広報チラシ

作成数：467,000枚

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：世帯配付、「道の駅」等市町村主要施設に設置

3) 奉仕者協力依頼状（白封筒付き）

作成数：12,000枚

仕様：A4、三つ折り、2色刷り

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配付

4) 奉仕者募集の手順書

作成数：32,000枚

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配付

5) 税制上の優遇措置、赤十字の表彰と表彰種別

作成数：36,000部

仕様：A4、両面カラー印刷

活用内容：自治会役員等赤十字奉仕者に配付

6) 赤十字会員（社員）加入・寄付申込書（兼領収書控）

作成数：90,000枚（360,000人分）

仕様：B4、両面2色刷り

活用内容：赤十字会員（社員）の加入、活動資金の納付

② 資材による広報活動

1) リーフレット「赤十字の使命と活動2021」（日赤本社作成）

活用内容：個人・法人有功章社員等の募集、イベント等での配付

2) 2021広報ポスター（日赤本社作成）

活用内容：イベント等での掲出

3) 赤十字新聞「赤十字NEWS」（日赤本社作成）

発行回数：毎月発行

発行数：1回につき1,900部

活用内容：赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に送付

※2千円以上の支援を行う赤十字会員(社員)に対し、情報提供として「赤十字NEWS」4月号（日本赤十字社の令和3年度予算概要掲載号）及び8月号（日本赤十字社の令和2年度決算報告掲載号）を送付

4) 支部報「日赤あおもり」(当支部作成)

発行回数：季刊発行(年3回)

発行数：1回につき1,000部

活用内容：奉仕団、青少年赤十字加盟校等関係者・関係団体に送付

③ メディア等による広報活動

1) 新聞広告の掲載

令和4年3月11日「東日本大震災から11年」の防災企画で、日本赤十字社が行うACTION!防災・減災にかかる広告を掲載し、赤十字会員増強・活動資金増収運動への理解促進を図った。

(ア)東奥日報社 連合広告(2段1/2カラー)

(イ)陸奥新報 編集記事下広告(2段1/2カラー)

2) マスメディア、市町村広報紙における記事の掲載

テレビ・新聞等マスメディアへの取材依頼と市町村広報紙への記事の寄稿依頼

3) ホームページ、SNSの運用

赤十字事業の紹介のほか、赤十字活動資金の募集、赤十字ボランティアの加入の方法などを広報展開した。特に、令和3年度は新たに支部公式SNS(Twitter、Facebook、Instagram)を開設し、支部の取組み等のさらなる情報発信に努めた。

④ イベントによる広報活動

1) 赤十字ふれあい推進事業の実施

地区区分が各自治体等で開催するイベントで、赤十字事業の広報展開を行った。

《令和3年度実施状況》

地区区分	事業名	実施日
外ヶ浜町	龍飛崎海岸清掃奉仕活動	7月2日
階上町	階上町文化祭	10月30日～11月3日

*新型コロナウイルスの影響により中止した地区区分

地区区分	事業名	実施予定日
十和田市	十和田市赤十字ふれあい推進事業 (四和小学校・中学校炊き出し訓練)	9月3日
横浜町	「公民館まつり」赤十字コーナー	10月23日～24日

2) 赤十字レッドライトアッププロジェクト2021

紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、アンリー・デュナンと日本赤十字社創始者の佐野常民が強く訴えた「人道」への理解を深めていただくことを目的として、レッドライトアッププロジェクト2021を実施した。

《実施施設名称等》

期 日：令和3年5月8日

施設名称：津軽ダム

事業所名：国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所



撮影・提供：国土交通省 東北地方整備局 岩木川ダム統合管理事務所

3) ACTION! 防災・減災

東日本大震災から10年を機に、日本赤十字社から「災害への備え」という行動(ACTION)を働きかける新たなメッセージを打ち出し、令和2年度より「ACTION! 防災・減災」を展開している。

令和3年度においては、「発災時の適切な避難行動」(9月)、「災害への備え」(3月)をメインに訴求を図り、日本赤十字社と常に繋がり続けるフォロワーの拡大施策を展開した。当支部では関係機関に協力を依頼し、同展開の有効な広報施策としてTwitter上で実施された「#あなたの備えがみんなの備えに」キャンペーンへの投稿を呼びかけた。

期 間：令和4年3月1日～31日

協力機関：地区分区、地域・特別赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校(高等学校)、青森地方気象台、青森海上保安部、八戸海上保安部、NHK青森放送局など





12. 青森県赤十字有功会

青森県赤十字有功会は、昭和55年5月24日、県内在住の有功章社員の参加を求めて結成され、以来、会員相互の「親睦・奉仕」を合い言葉に「人道・博愛」を使命とする赤十字事業を支援し続け、昨年5月、42年目を迎えた。

令和4年3月31日現在、会員数は、360名（社・団体）となっている。

(1) 有功会員による仲間づくり運動の推進

会員の募集した実績		会員の寄付協力実績		合 計	
件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)	件 数	金額 (円)
1	1,000,000	23	11,200,000	24	12,200,000

(2) 青森県赤十字有功会会員の状況

(令和4年3月31日 現在)

市郡別	区 分	個 人		法 人		計
		金色有功章	銀色有功章	金色有功章	銀色有功章	
青 森 市		45	22	34	7	108
弘 前 市		13	10	17	3	43
八 戸 市		23	9	33	3	68
黒 石 市		0	1	1	0	2
五 所 川 原 市		5	4	1	2	12
十 和 田 市		8	4	6	2	20
三 沢 市		2	4	3	0	9
む つ 市		6	3	4	0	13
つ が る 市		1	3	1	0	5
平 川 市		0	0	0	0	0
小 計		103	60	100	17	280
東 津 軽 郡		6	4	3	4	17
西 津 軽 郡		2	1	2	1	6
中 津 軽 郡		1	0	0	0	1
南 津 軽 郡		3	1	1	0	5
北 津 軽 郡		3	1	0	1	5
上 北 郡		7	6	6	3	22
下 北 郡		2	2	3	0	7
三 戸 郡		15	1	1	0	17
小 計		39	16	16	9	80
合 計		142	76	116	26	360

※会員総数 360 (内訳) 個人 218 名
法人 142 社

(3) 令和3年度 青森県赤十字有功会主要事業

項 目 / 概 要	
1) 有功会員による仲間づくり運動の推進	
令和3年度協力実績 (内訳)	24件 12,200,000円
新規有功章等募集 会員による寄付金	1件 1,000,000円 23件 11,200,000円
	令和4年3月31日現在 個人・法人会員数 360人・社 ※前年度 373人・社
2) 地区赤十字有功会への活動の助成	
地区有功会活動助成金 (内訳)	3地区 66,000円
弘前市赤十字有功会	26,000円
平内町赤十字有功会	20,000円
蓬田村赤十字有功会	20,000円
3) 有功会報の発行	
有功会報 第76号発行 (発行日: 令和4年1月)	全会員ほか関係者等へ送付
4) 各種義援金等寄託	
令和3年度義援金・救援金 (内訳)	2件 30,000円
令和3年台風9号災害	20,000円
NHK海外たすけあい	10,000円
5) 青少年・子ども赤十字活動支援	
品名: 青少年赤十字創設100周年ロゴマーク入り 布製トートバック	
6) 各種行事等	
①監査 (6月23日/書面監査)	
・令和2年度事業並びに会計収支監査	
②第58回役員会 (8月16日/文書審議)	
・議案審議	
令和2年度事業報告及び収支決算について	
令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について	
③通常総会 (9月21日/文書審議)	
・議案審議	
令和2年度事業報告及び収支決算について	
令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について	
④日赤紺綬・有功会会長協議会総会 (11月9日/文書審議)	開催担当県: 群馬県



13. 評議員会及び監査

令和3年度における評議員会及び監査の開催状況は次のとおりである。

(1) 評議員会

① 第162回支部評議員会

開催方法 文書審議（6月23日承認）

審議議案

- 1 令和2年度 日本赤十字社青森県支部 事業報告及び一般会計歳入歳出決算
- 2 令和2年度 はまなす医療療育センター 事業報告及び社会福祉施設特別会計歳入歳出決算
- 3 令和2年度 八戸赤十字病院 事業報告及び医療施設特別会計歳入歳出決算
- 4 令和2年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出補正予算（案）
- 5 任期満了に伴う支部長の選出

報告

令和2年度 青森県赤十字血液センター 事業報告

② 臨時支部評議員会

開催方法 文書審議（1月17日承認）

審議議案 辞任に伴う副支部長の選出

③ 第163回支部評議員会

開催方法 文書審議（2月7日承認）

審議議案

- 1 令和4年度 日本赤十字社青森県支部 事業計画及び一般会計歳入歳出予算（案）
- 2 令和4年度 はまなす医療療育センター 社会福祉施設特別会計歳入歳出予算（案）
- 3 令和4年度 八戸赤十字病院 医療施設特別会計歳入歳出予算（案）
- 4 令和3年度 日本赤十字社青森県支部 一般会計歳入歳出補正予算（案）
- 5 任期満了に伴う代議員の選出

報告

令和4年度 青森県赤十字血液センター事業計画（案）

(2) 監査

令和2年度決算監査

施設名	実施方法等	監査委員
日本赤十字社青森県支部	実地監査（5月27日）	若佐谷典人 加川 史 高橋 文雄
青森県赤十字血液センター	実地監査（5月27日）	
八戸赤十字病院	実地監査（5月24日）	
青森県立はまなす医療療育センター	実地監査（5月23日）	



14. 令和3年度一般会計・特別会計決算報告

(1) 一般会計

事業費目	金額 (円)
支部収入	
社 資 収 入	196,876,127
委 託 金 等 収 入	0
補 助 金 及 び 交 付 金 収 入	5,352,418
災 害 義 援 金 預 り 金 収 入 (令和3年台風第9号等大雨災害義援金)	47,876,836
繰 入 金 収 入	17,624,289
資 産 収 入	12,168,792
雑 収 入	5,113,923
前 年 度 繰 越 金	18,301,106
収 入 合 計	303,313,491

事業費目	金額 (円)
支部費	
災害救助活動及び救護資材の整備	7,038,414
赤十字看護師の養成費	1,680,430
献血普及・管下施設の指導	162,486
救急法・健康生活支援講習等普及	2,157,736
赤十字奉仕団の普及と育成強化	4,009,836
青少年赤十字の普及と育成強化	3,172,351
社会福祉活動	19,725
国際救援活動と国際開発協力事業	407,000
地区・分区の運営	16,562,645
赤十字社員の整備と増強	11,848,726
赤十字思想の普及と広報活動	5,470,225
本社の活動推進	28,897,219
施設繰り出し・補助金	8,101,400
資金積立	25,409,033
支部の運営管理	115,731,333
令和3年台風第9号等大雨 災害義援金(配分委員会送金)	47,876,836
支 出 合 計	278,545,395

収入支出差引額(翌年度繰越)	24,768,096
----------------	------------

(2) 社会福祉施設特別会計

収入の部	金額 (円)
受託事業収入	811,557,415
その他事業収入	425,503
経常経費寄附金収入	755,736
受取利息配当金収入	8
その他の収入	161,026
他会計繰入金収入	1,129,840
その他の活動による収入	21,878,230
前期末支払資金残高	△385,533
収入合計	835,522,225

支出の部	金額 (円)
人件費支出	633,896,502
事業費支出	90,394,621
事務費支出	75,086,005
支払利息支出	139,042
その他の支出	129,913
施設整備等支出	2,765,814
他会計繰入金支出	446,160
その他の活動による支出	34,630,134
支出合計	837,488,191

収入支出差引額	△1,965,966
---------	------------

※外部監査の導入に伴い、あずさ監査法人の指示で賞与引当金に対する見合いの法定福利費を計上したことにより、収入支出差引額がマイナス計上となっている。

(3) 医療施設特別会計

① 収益的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
医療収益	10,538,221,299
医療外収益	1,769,048,381
医療社会事業収益	0
付帯事業収益	0
特別利益	2,745,340
計	12,310,015,020

事業費目	金額 (円)
支出	
医療費用	10,314,994,434
医療外費用	44,684,045
医療奉仕費用	23,687,406
付帯事業費用	0
特別損失	848,346
法人税等	565,164
計	10,384,779,395

収入支出差引額	1,925,235,625
---------	---------------

② 資本的収入及び支出

事業費目	金額 (円)
収入	
固定負債	197,416,538
資産売却収入	0
その他資本収入	802,470,993
計	999,887,531

事業費目	金額 (円)
支出	
固定資産	436,020,758
借入金等償還	563,866,773
計	999,887,531

収入支出差引額	0
---------	---



15. 支部役員・評議員

(1) 支部役員・本社役員

役職名	氏名	公職等
支部長	三村申吾	青森県知事
副支部長	青山祐治	青森県副知事
同	熊谷雄一	八戸市長
同	工藤順巳	青森県赤十字有功会長、協同組合日専連弘前顧問
監査委員	若佐谷典人	税理士
同	加川史	元つがる市商工会事務局長
同	高橋文雄	元弘前市健康福祉部長
本社理事	木明昭一郎	社会福祉法人福祉の里理事
本社代議員	木明昭一郎	社会福祉法人福祉の里理事
同	村井達	青森県赤十字有功会副会長、八戸赤十字病院運営審議会会長
同	成田耕造	青森県赤十字有功会副会長、株式会社成田本店取締役会長

(2) 評議員（選出区分） ※任期：令和4年2月14日～令和7年2月13日

加川史（青森市地区）	田中武（東津軽地区）
鶴賀晃（青森市地区）	新保なり子（西北地区）
佐藤正則（青森市地区）	宮本はる枝（西北地区）
高橋文雄（弘前市地区）	安田裕（中南地区）
小柳紀八郎（弘前市地区）	木村宣文（中南地区）
日沢忠道（八戸市地区）	木明昭一郎（上北地区）
荒川繁信（八戸市地区）	新館なみゑ（上北地区）
大橋正治（八戸市地区）	川村武司（三戸地区）
北山リッ（黒石市地区）	佐藤久美子（三戸地区）
小関光雄（五所川原市地区）	村井達（支部長）
澤橋勇（十和田市地区）	樋口秀視（支部長）
高橋博美（三沢市地区）	成田耕造（支部長）
石倉司（むつ市地区）	沼田弘子（支部長）
鶴賀善宏（つがる市地区）	俵藤晶（支部長）
大里あさ（平川市地区）	

(定数30名)

長期ビジョンを道標として、「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界へ。

日本赤十字社は、1877年の博愛社創設時より、国内外での戦時救護、災害救護活動をはじめ、医療事業や血液事業、社会福祉事業など、時代のニーズに応え様々な活動を展開してきました。創立から140年が経過し、人口構造の変化・グローバル化・ICT化・気候変動等が進む中で、多様で新しい人道問題も次々に生まれてきています。

こうした急速に変化する社会において、より柔軟かつ的確に人道ニーズに対応できる赤十字への変革が求められ、これまでの常識や経験、考え方にとらわれずに、新たな課題に果敢にチャレンジしていく必要があります。

この長期ビジョンを道標として、私たち一人ひとりが自らの発想と意志を持って活動に取り組み、どのような状況にあっても「人間のいのちと健康、尊厳が守られる」世界を目指していきたい。変わりゆく未来へ、赤十字の挑戦です。

— 「日本赤十字社 長期ビジョン」全体像 —

日本赤十字社が 取り組む社会課題

- 災害や紛争から人々が守られる社会づくり
- 人々の健康・福祉を支える地域づくり
- 互いを思いやり、助け合い、尊重し合う社会づくり

目指す姿

国内外における人道支援活動の“要”となり、
わが国の地域医療・血液事業の中核を担う赤十字

新たなステージへの行動指針

- 支援を受ける側に立った想像力の発揮
- 事業間・施設間の連携による相乗効果の発揮
- 先進技術を生かした事業展開
- 「選択と集中」の徹底
- 赤十字ネットワークを活用した事業推進
- 行政や関係団体、企業、大学等との連携強化
- ビッグデータ等を活用した事業推進

長期戦略

— 事業戦略 —

災害や紛争時における
支援の充実とレジリエンスの強化

超少子高齢社会における
地域の健康・安全な生活の追求

多様化が進む社会における
人道の輪の拡大

— 運動基盤強化戦略 —

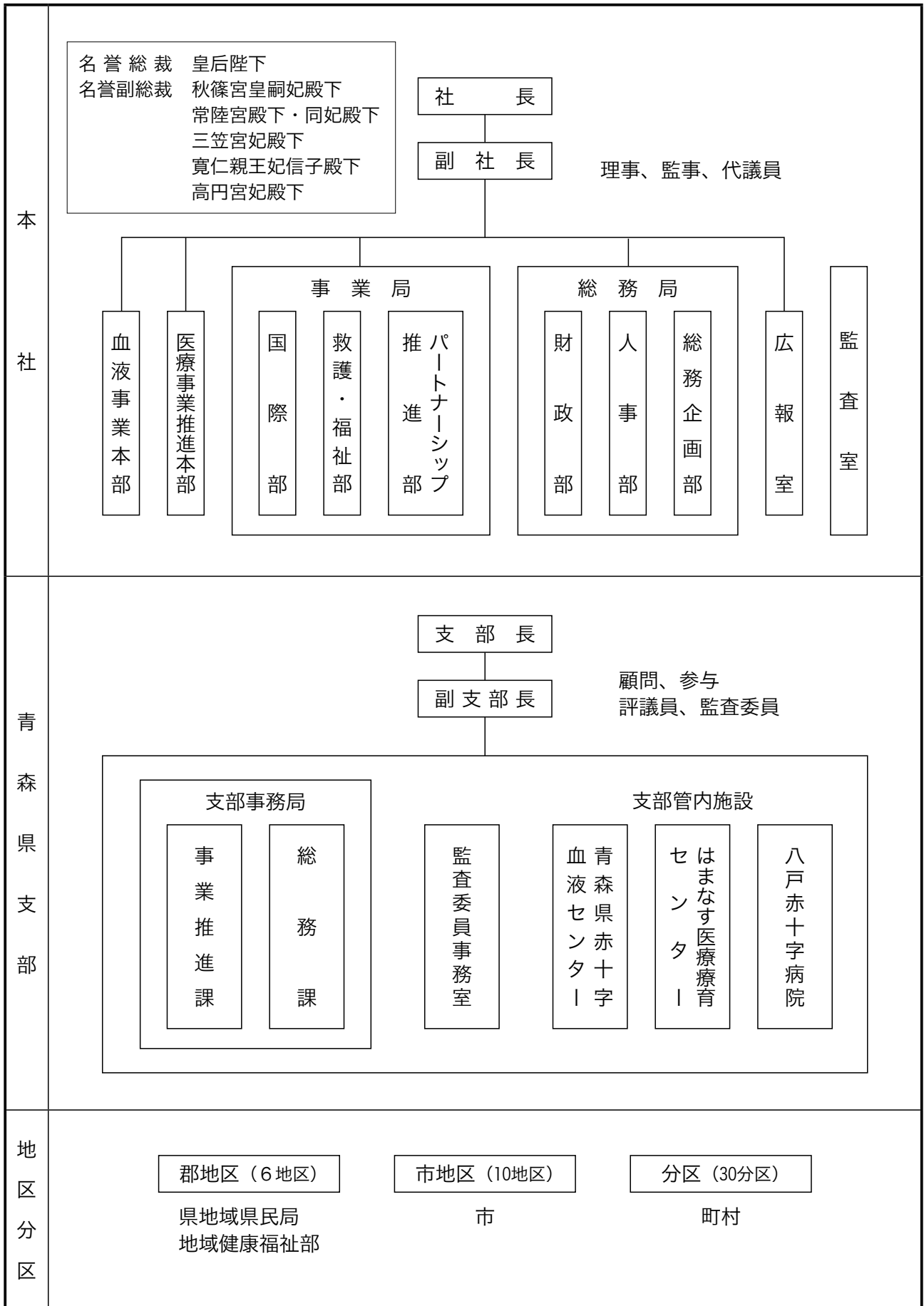
会員の赤十字運動への参画促進

奉仕団等ボランティア主体の活動の拡充

国際赤十字との更なる協働

赤十字の組織と機構

(令和4年4月1日 現在)



日本赤十字社青森県支部現勢

1. 沿革

明治20年(1887)12月28日 日本赤十字社青森県委員部設立
 明治28年(1895)12月28日 日本赤十字社青森支部に改称
 昭和27年(1952)10月 日本赤十字社青森県支部に改称

2. 赤十字会員数

個人 2,829人/法人 410社

3. 評議員

30人

4. 役員

支 部 長 三村 申吾
 副 支 部 長 青山 祐治、熊谷 雄一、工藤 順巳
 本 社 理 事 木明昭一郎
 本 社 代 議 員 木明昭一郎、村井 達、成田 耕造
 支 部 監 査 委 員 若佐谷典人、加川 史、高橋 文雄

5. 赤十字奉仕団

区 分	団 数	登 録 数
地 域	47団	6,922人
青 年	3団	158人
特 殊	9団	648人
合 計	59団	7,728人

6. 青少年赤十字

区 分	加盟登録数	登録人数
幼稚園・保育園	204園	11,652人
小 学 校	106校	16,780人
中 学 校	51校	8,956人
高 等 学 校	52校	1,063人
特別支援学校	4校	65人
合 計	417校	38,516人

指導者数5,052人

7. 青森県赤十字有功会員

個人 218名/法人 142社・団体

8. 講習普及活動

区 分	講習回数	受講者数	指導員数
救 急 法	67回	1,488人	86人
水 上 安 全 法	15回	487人	30人
健康生活支援講習	0回	0人	5人
幼 児 安 全 法	0回	0人	11人
合 計	82回	1,975人	132人

※指導員養成講習を除く

9. 国際活動

- ・第1ブロック支部共同事業
ラオス救急法普及支援事業
バヌアツ青少年赤十字海外支援事業
- ・NHK海外たすけあいキャンペーン

10. 災害等救護

救 護 班	8班 56名	
無 線 局	基地局 6/移動局 39	
救 援 車 輛	4台	
受 付 義 援 金 (※)	193件 48,925,968円	
配 付 救 援 物 資 (※)	毛 布	561枚
	緊急セット	351個
	安眠セット	250個
	タオルケット	50枚

11. 医療施設

八戸赤十字病院 病床総数 434床 (一般374床、精神60床)

総患者数 (※)		一日平均患者数 (※)	
入院患者	111,304人	入院患者	304.9人
外来患者	156,999人	外来患者	648.8人

12. 血液事業

青森県赤十字血液センター

施設数		車両台数	
血液センター	1	献血バス	4台
献血ルーム(出張所)	3	献血運搬車両	15台
献血者数 (※)		供給本数(200mL換算) (※)	
200mL	1,382人	全血製剤	0本
400mL	31,853人	赤血球製剤	71,136本
血漿成分	11,516人	血漿製剤	19,937本
血小板成分	2,911人	血小板製剤	102,750本
合 計	47,662人	合 計	193,823本

13. 肢体不自由児施設

青森県立はまなす医療療育センター

医療型障害児入所施設・療養介護事業		医療型児童発達支援センター	
肢体不自由	42床	障害児(通所)	40名
重症心身障害	40床		

14. 施設及び職員数

区 分	職 員 数
支 部	11人
八 戸 赤 十 字 病 院	560人
青 森 県 赤 十 字 血 液 セ ン タ ー	62人
は ま な す 医 療 療 育 セ ン タ ー	89人
合 計	722人

・嘱託、臨時職員等除く

15. 会計 (令和4年度当初予算)

：千円

一般会計	歳 入	歳 出
支 部	219,470	219,470
社会福祉施設特別会計		
はまなす医療療育センター	897,786	897,786
医療事業特別会計		
八 戸 赤 十 字 病 院	10,656,213	10,805,103

- ・血液センターは各ブロックを会計単位としているため省略。
- ・特に断りのない統計数字等は、令和4年4月1日現在。
- ※は令和3年度分。

日本赤十字社青森県支部管下施設一覧

日本赤十字社青森県支部

〒030-0861 青森市長島1丁目3番1号

TEL 017-722-2011 FAX 017-735-3502

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/>

八戸赤十字病院

〒039-1104 八戸市大字田面木字中明戸2

TEL 0178-27-3111 FAX 0178-27-3121

ホームページ <http://www.hachinohe.jrc.or.jp/>

日本赤十字社青森県支部受託 青森県立はまなす医療療育センター

〒031-0833 八戸市大字大久保字大塚17-729

TEL 0178-27-3111 FAX 0178-27-3121

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/aomori/> (青森県支部ホームページ内)

青森県赤十字血液センター

〒030-0966 青森市花園2-19-11

TEL 017-741-1511 FAX 017-741-1517

ホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/aomori/index.html>



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和3年度 事業年報
